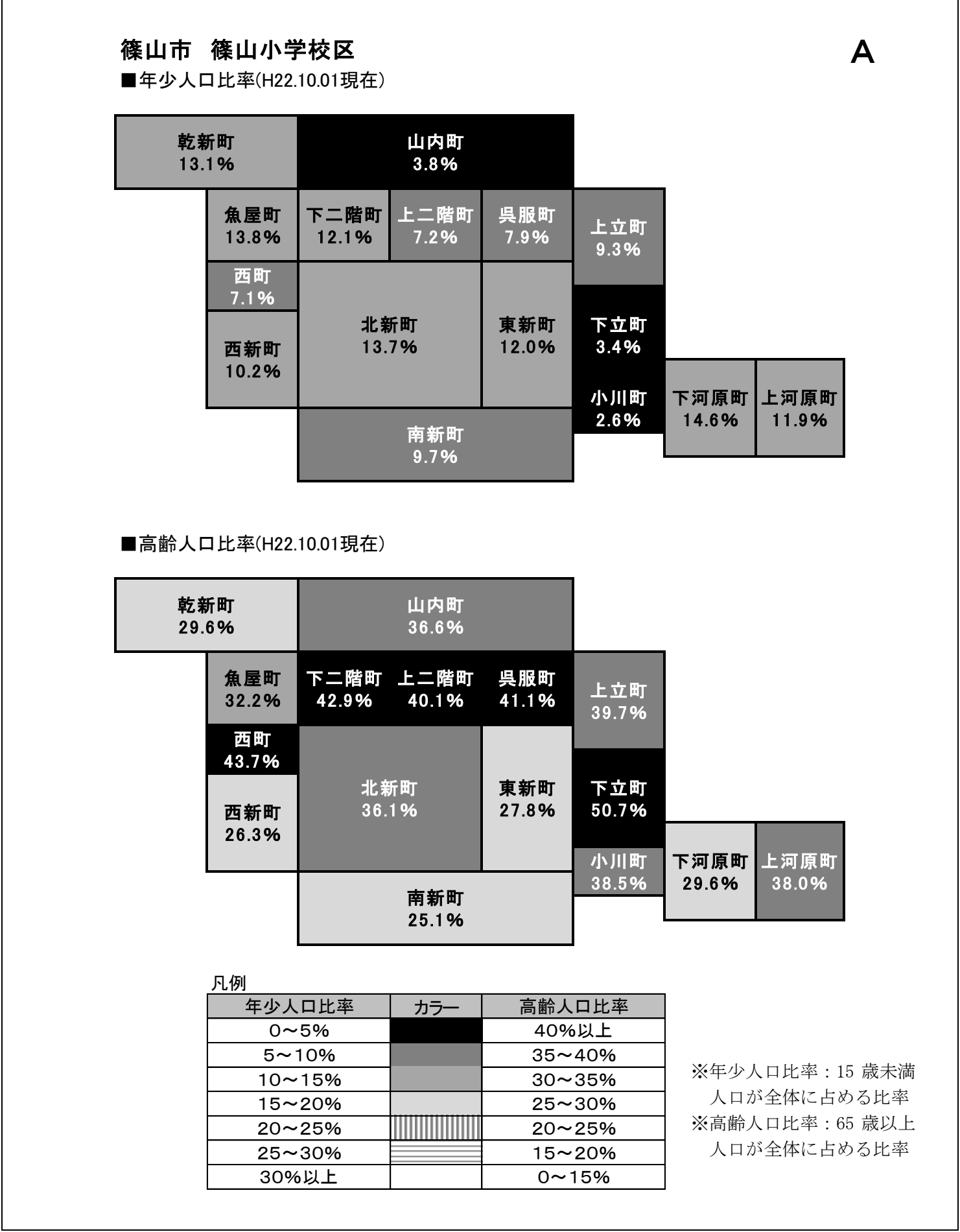


地区カルテ（篠山市 篠山 篠山小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
16	3,656	1,568	2.33	10.6%	33.2%	H22.10.01

■概 況		
概況	位置・交通	・篠山市のほぼ中央部、標高 205m（篠山市役所の場所）に位置する。 ・JR 篠山口、舞鶴若狭道・丹南篠山 IC より東々北に約 5km にある。 ・駅がなく、JR 福知山線篠山口駅から神姫バス等を利用する必要がある。
	成り立ち	・関ヶ原の合戦後、当地が山陰道枢要の地であることから、徳川家康が慶長 14 年（1609）に築城させた「篠山城」の城下町（城を中心とした方角基調の城下町）として発展してきた。 ・篠山の名前は、現篠山城跡の小丘をかつては「笹山」と称していたことに由来する。 ・明治 12 年（1879）郡区町村編成法により、旧城郭と従前からの市街地をもって「篠山町」とした。
	産業・生活	・商業が中心産業であり、現代まで隣接する他の地域と比べて、比較的大規模な商業集積地となっている。生活品はほぼ地区内で手に入る。 ・行政、文化等の中心地として、市役所（本庁舎）、たんば田園交響ホール、病院、郵便局などがある。隣接する黒岡には、兵庫医大ささやま医療センターがある。 ・地区内にはレンタサイクルや土産物屋も充実しており、観光産業の占める割合が多い。 ・空き家が増加し、建物の取り壊しが進んでいる。 ・近隣の大型スーパーの出現により、商家群や商店街などが商業の中心から外れつつある。
資 源 ・ 施設	自然・環境	・地区南の篠山川にホテルの生息も見られたが、現在では生息数は減少している。 ・地区の東部を黒岡川が南流し、王地山がある。西部を番所川が南流している。 ・北部にはかろうじて田園風景が残っている。 ・市街地の中にも農業用水や河川が入り込んでいる。
	歴史・文化	・国史跡の篠山城址（同所に青山神社が創建されている） ・妻入商家群、武家屋敷群は国重要伝統的建造物群保存地区 ※商人は城の南に、武士は城の西に集められ、町屋・武家屋敷群が形成された。 ・防衛上のために 50m 間隔で植えられた榎の大木、屈曲した道路 ・秋の例祭は丹波地方の祭り、「デカンショ祭」は県下最大の民謡の祭典 ・商店街は猪肉や牛とろ井、黒豆など地域の食文化の集積地となっている。
	公共公益施設	・篠山小学校、篠山幼稚園、ささやま保育園 ・篠山郵便局（本局）、河原町郵便局、乾新町郵便局 ・兵庫医科大学ささやま医療センター（黒岡に立地） ・篠山市役所、たんば田園交響ホール（有名アーティストのコンサートも開かれる丹波地域の芸術文化の拠点）、市民センター（市民プラザ：市民活動支援コーナーがある） ・地区内に多くのポケットパークが設置されている。
地域づくり	主な組織と取り組み	・篠山校区自治会長会（会長：藤本善一） ・まちなみ保存会、スポーツクラブ 21 ささやま など 12 団体
	主な課題	人口の減少と少子化の進行、独居高齢者の増加、商店街の沈滞化が進む中であって ・近所づきあいやコミュニケーションの希薄化を防止し、防犯・防災活動を高めること ・春日神社秋祭り等の地域の伝統文化を次世代へ確実に継承させること ・人口減少を食い止め、安定的な社会をつくること
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



地区カルテ（篠山市 篠山 ^{やかみ}八上小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
15	2,374	864	2.69	12.6%	27.8%	H22.10.01

■概況

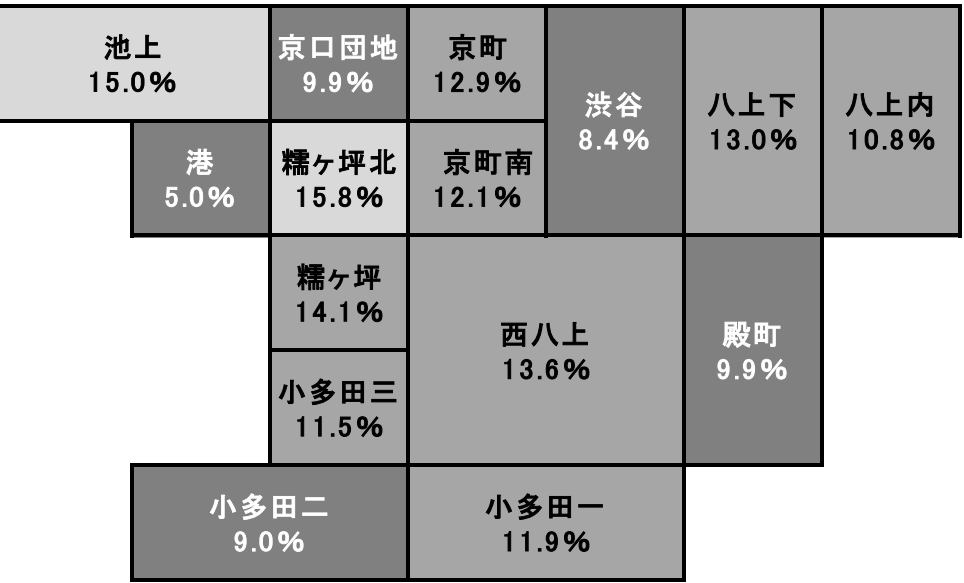
概況	位置・交通	・篠山盆地は、東西約 12km、南北約 4km の船底状を呈している。この中央に篠山城跡があり、この城の南東方向に八上校区が所在する。 ・国道 372 号は京都から姫路へと通じる幹線道路であり、校区の南山麓を東西に走る。主要地方道篠山山南線、県道池上杉線が篠山川に平行して北側を走る。
	成り立ち	・八上内・殿町・小多田地区の山麓に古墳が分布し、今から 1,500 年前（古墳時代）に生活が営まれていた。奈良・平安時代には、八上校区は東に神田郷、西に真継郷（池上・小多田）とする説がある。古代山陰道が往還していた可能性がある。 ・戦国時代、八上城跡は、波多野清秀が応仁の乱（1467～1477 年）の戦功によって、殿町の蕪谷に奥谷城跡（現蕪丸）を築城。その後、波多野氏は管領細川氏の有力内衆として勢力を拡張、天文七年（1538 年）奥丹波地方を実効支配する。同十一年、織田信長が上洛すると、天正四年（1576 年）八上城は、明智光秀軍の丹波攻略によって包囲され、1 年にわたる籠城の末に落城した。 ・慶長 13 年（1608 年）、松平康重が八上城に入り、14 年徳川家康の命により篠山に城を築城、15 年八上城下の町家を篠山に移す。それ以後旧山陰道の街道となる。
	産業・生活	・現在兼業的農業が中心。稲を基本に、黒豆・山の芋等の特産物を生産。林業は無に等しい。買物は、地区内には食料品等を売る店はなく、校区外のスーパー等に求める。福祉・医療等の施設も校区外にある。コンビニ 1 軒、喫茶店 3 軒、大型量販店（食料品を除く）1 軒、電気量販店 1 軒、自動車学校がある。
資源・施設	自然・環境	・南の山塊から北に流れる奥谷川と尾根川の河川によって形成された扇状地形を呈し、篠山川左岸の渋谷・糯ヶ坪に河岸段丘が見られる。南に屏風のような 500m 前後の山塊と東から西に流れる篠山川との間に形成された海拔 210m 前後の平野部に立地する。 ・貴重な水生生物「カブトガニ（草取り虫）」「カイエビ」が生息。
	歴史・文化	・国指定史跡「八上城跡」、県指定文化財「蔵王権現立像」、市指定建造物「重兵衛茶屋」・史跡蕪丸城跡（奥谷城跡）、価値ある木造校舎「八上小学校校舎」、八上内・下等の旧山陰道と町並み、一里塚、薬師谷古墳、田松川、篠山線廃線跡等の歴史的文化遺産がある。民俗行事は十分に調査が行われていない。
	公共公益施設	・八上小学校・幼稚園、八上保育園、高城会館、（糯ヶ坪地区に集積）
地域づくり	主な組織と取り組み	・まちづくり協議会に、企画部、地域おこし部、福祉部、コミュニティ部、体育部、生活環境部の 6 つの部が設けられ、各部毎に事業を立ち上げている。 ・八上校区のコミュニティ形成の方針として、「三愛」まちづくり活動、郷土を愛する人づくり活動、人との出会い、語らいを愛する場づくり活動、社会的弱者を愛する活動を掲げている。これらの活動方針を、夏祭り、運動会、三世代交流事業、広報誌「やかみ高城」発行、人権学習会、八上ふるさと塾、ふれあい交流サロンの開設、八上城跡クリーン作戦等の事業に展開し、県民交流広場事業等の助成を受け、取り組んでいる。
	主な課題	・まちづくり協議会が活発な活動を行うための組織体制の構築。 ・次世代の育成、人材の発掘、新住民との融合を図る。 ・高城公民館・ふれあいサロンの活用を図り、住民同士の交流の場づくり。 ・国指定史跡八上城跡と城下のもつ歴史的価値、文化遺産的価値を学ぶ。 ・八上城跡・城下町の一体的整備を進め、故郷の山城創りを行う。
備考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況

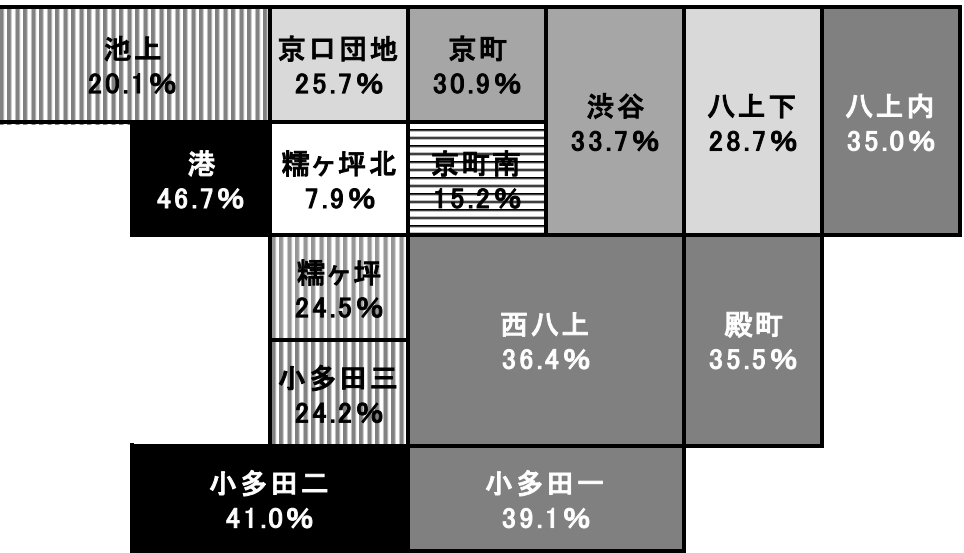
篠山市 八上小学校区

B

■年少人口比率(H22.10.01現在)



■高齡人口比率(H22.10.01現在)



凡例

年少人口比率	カラー	高齢人口比率
0～5%		40%以上
5～10%		35～40%
10～15%		30～35%
15～20%		25～30%
20～25%		20～25%
25～30%		15～20%
30%以上		0～15%

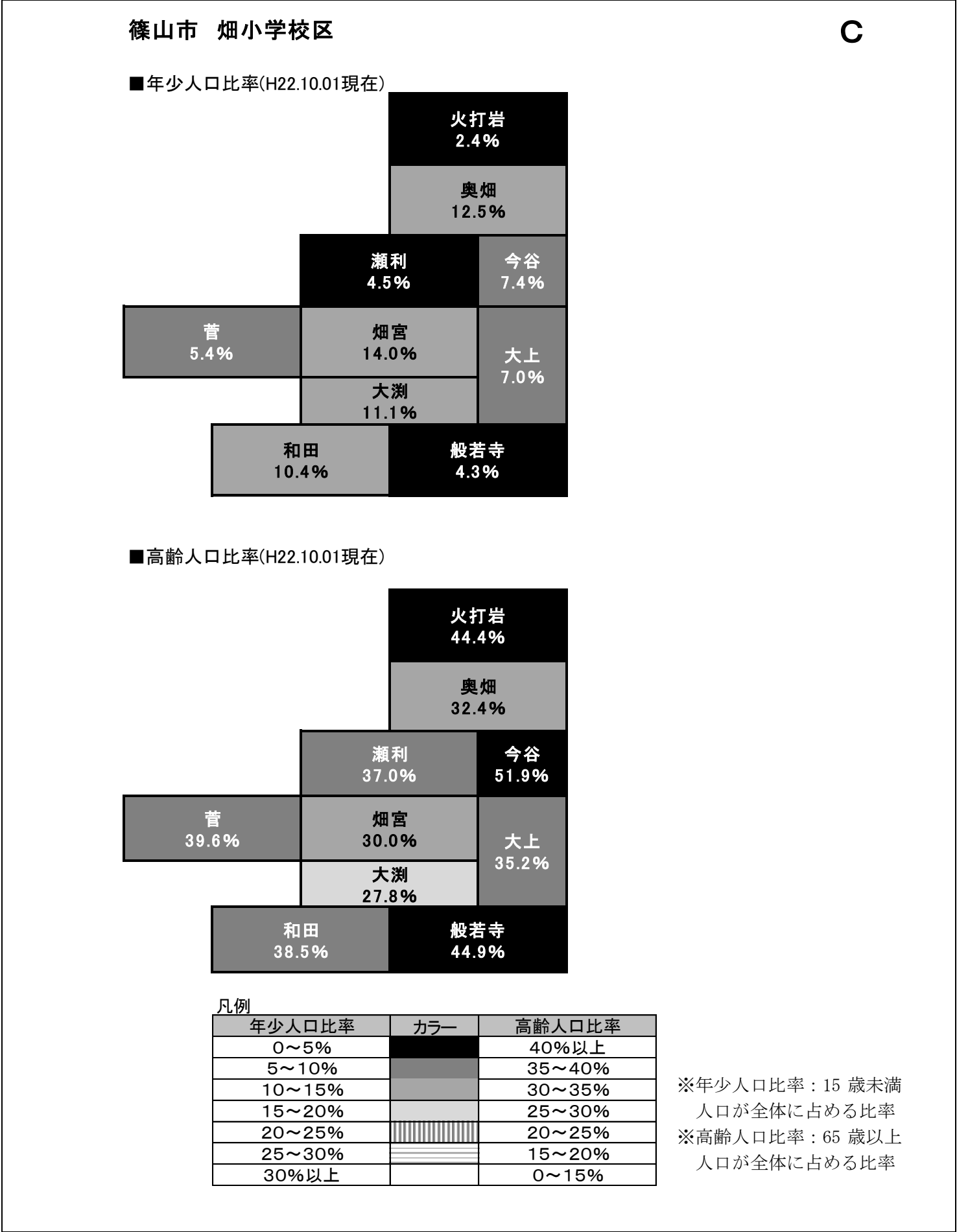
※年少人口比率：15 歳未満
人口が全体に占める比率
※高齢人口比率：65 歳以上
人口が全体に占める比率

地区カルテ（篠山市 篠山 はた 畑小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
10	1,092	415	2.63	7.8%	37.70%	H22.10.01

■概 況		
概況	位置・交通	・篠山市中央部より北東4Kmに位置し県立自然公園多紀連山の麓に開けた谷間の地域。 ・JRバス引上げ後は1日3便の乗合タクシーが唯一の公共交通機関。 ・北に県道東浜谷本郷線、南に県道篠山細工所線が通じ、その間を市道が結ぶ。
	成り立ち	・正平5年(1350年)、畑時速が八百里城を築城、正平16年この地を「畑の郷」と称す。 日鉄鉱山の硅石搬送の為に開かれた道(県道)が今なおそのまま利用されている。 ・佐佐婆神社(1212年)の例祭をシンボルとして地域コミュニティが継承された。
	産業・生活	・農林業で栄えた谷間のまち、冬季は丹波杜氏として酒づくりに村の男性の大半が出稼ぎ。 ・大正15年丹波硅石として開山、昭和25年には日鉄鉱業所畑採石所としてその最盛期を迎え、村は大いに活性化し、畑小学校にも400有余の子供が在籍した。 ・日用品を販売する店も校区内に2～3戸となり、全て中心部のスーパー等を利用。 ・医療機関もなく中心部に通院を余儀なくされる。
資源・施設	自然・環境	・極めて豊かな自然に包まれた谷間の静かなまち。四季折々に畑小学校屋上に設置された天体望遠鏡を活用し観測会を長年展開、星空の美しいまち、昨今6月にはゲンジボタルが畑川に乱舞するようになった。 ・御嶽山岳に見るクリンソウ大群生地と鰐市の名水は本校区のシンボル。
	歴史・文化	・修験の山、三嶽連山に見る古寺や行場の数々 ・太寧寺をはじめとする11ヶ寺の古寺と現存する仏閣・文化財 ・佐佐婆神社の祭礼をはじめとする7ヶ所に及ぶ神社と伝統文化・行事 ・戦国の世に建立された八百里城をはじめとする6ヶ所城跡 ・県指定文化財、戦国時代の豪族の居館[土居の内]や金照寺に保存される漢鏡、鏡板、環鈴等、現存する古文書や天文の数々
	公共公益施設	・畑コミュニティセンター「みたけ会館」(昭和55年3月建築)―地域交流の拠点 ・農協支所の引き上げにより、現存する公共施設は小学校・駐在所・郵便局(平成25年4月には小学校統合予定、文化の拠点を失うこととなる) ・鰐市ダム(1,070,000㎡の貯水、400haの田畑をうるおす)
地域づくり	主な組織と取り組み	・10集落、14活動団体があるが、畑校区自治会長会とみたけの里づくり協議会が核となり、畑コミュニティセンター「みたけ会館」を活動拠点として、各種事業・イベントを精力的にとりくみ、長年展開し続けている。 ・みたけの里獣害防護柵の設置(平成22年) ・顕著な少子高齢化の中にあって、地域の活性化を求めて「はた祭りを盛り上げる会」を組織した(神事や祭囃子の保存・継承を通した次世代の育成)。
	主な課題	・基幹産業である農業では、超高齢化及び後継者不足が明らか。鳥獣害被害の増大による栽培意欲の低下。 ・市の進める「住もう、帰ろう運動」の具現 ・種々の行事イベント等を通し、大学生(若者)や都市部の人々との交流を考慮しつつ、世代間の一層の交流 ・高齢者や障害のある人々の生き甲斐づくり
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



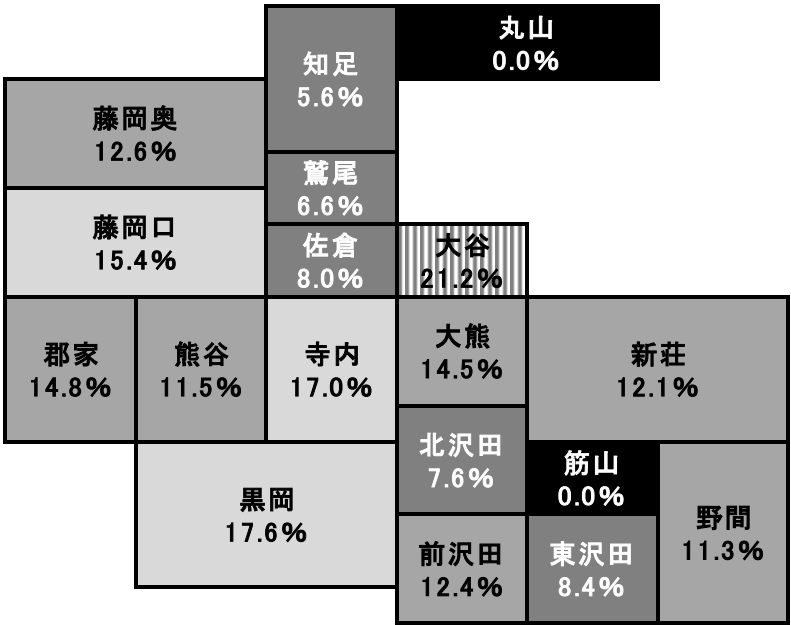
地区カルテ（篠山市 篠山 城北小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
18	3,201	1,176	2.72	13.7%	24.6%	H22. 10. 01

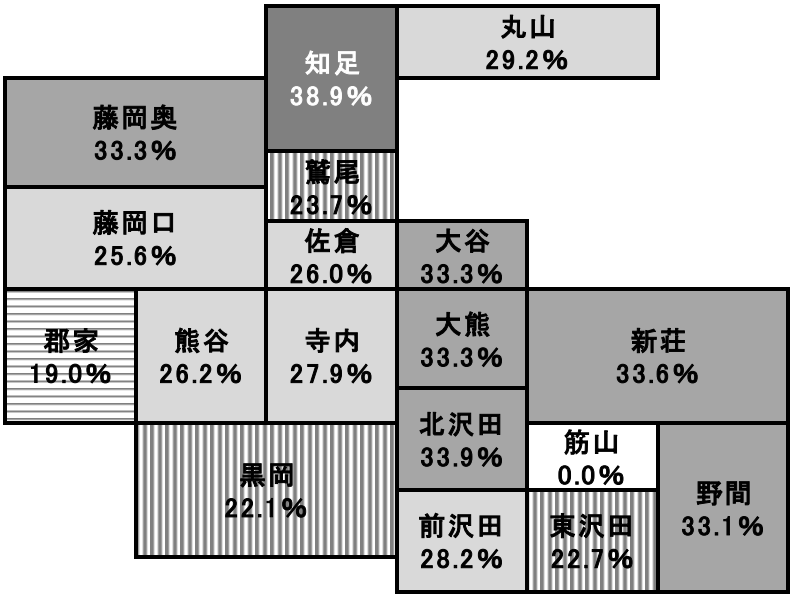
■概況

概況	位置・交通	・篠山市街北側に隣接する静かな田園地帯。商店街に近く生活利便はよい。地域は広範囲。 ・地域の移動手段は地区の中心部を通るバス路線がなく、自家用車に頼っている状況である。週1回のコミュニティバス（ハートラン）の運行があるが乗車率は低い。
	成り立ち	・慶弔14年（1609）篠山築城により、城の北に位置するため「城北」と呼ばれている。 ・中世荘園の「安行荘」（新荘、野間の東部）、「日置荘」（沢田、黒岡、郡家の中心部）、「三箇北荘」（大熊、寺内、佐倉、大谷、鷲尾、知足、熊谷、藤岡の北部谷筋集落）から成り立つ。丸山は昭和34年の校区変更により畑村「畑荘」から編入。筋山は、近年、沢田・黒岡の一部から民間会社の社宅が建設され独立した自治会が設立された。 ・明治22年に「城北村」となり、昭和30年「篠山町」、平成11年「篠山市」となる。
	産業・生活	・多紀連山の豊富な水と肥沃な土壌により昔から農業が基盤。水稻、山の芋、黒大豆等の特産品の栽培にも意欲的。多くの篤農家を輩出。近年、兼業農家が大半を占める。 ・市街地に隣接する地域では新規流入者が増加。農家と非農家の比率が逆転している。 ・20年前と比べ、市街地に隣接した地域を含むため全体の世帯数は53%、人口で20%増加。大半の集落は少子高齢化傾向にある。特に多紀連山麓の谷間の集落は顕著である。
資源・施設	自然・環境	・都市化が進む地域と自然景観を残す地域の二面性をもつ。宅地開発が進む市街地周辺でも農地の宅地転用が制限され、商店の進出は少なく、田園風景は保たれている。 ・谷間集落は、山林も含め後継者不足や有害鳥獣被害の拡大で自然環境が荒廃しつつある。
	歴史・文化	・伝統的な神社仏閣が多く、春日神社の秋の祭礼、沢田の鱧祭り等農業を柱とした伝統行事が多い。ささやま味まつりは当地の農家が中心に始まり全市的な行事に発展した。 ・地域の小学校では「お苗菊」と呼ばれる、旧篠山藩主青山忠良が大阪城に在職中、将軍から配慮したと伝えられる中菊を、今なお「旧藩公愛撫の花」として、地域の人々の指導を仰ぎながら伝統的に栽培を続けている。
	公共公益施設	・市街地に近く、多くの公共公益施設がある。市民センター、兵庫医科大学ささやま医療センター、JA丹波ささやま篠山支店（2Fに地域活動拠点、篠山市立玉水会館あり）、篠山総合スポーツセンター、学校・幼稚園（玉水幼稚園、城北小学校、篠山中学校、篠山養護学校、篠山鳳鳴高等学校）など。
地域づくり	主な組織と取り組み	・城北自治会長会/コスモス栽培コミュニティ活動/親睦運動会（玉水まちづくり協議会と連携）/敬老会（玉水会館運営委員会）/人権・同和教育研究大会（人権まちづくり推進委員と連携）/新春を語る会/親睦研修旅行 ・玉水まちづくり協議会/三世代交流グランドゴルフ大会/防犯講習会/獣害柵設置検討委員会の設置 ・玉水会館運営委員会（集落自治会長、各団体代表で構成）：会館の維持管理と地区コミュニティ活動の支援 ・スポーツクラブ21「城北」/親睦交流ウォーキング（玉水まちづくり協議会と連携）会員制でグランドゴルフ、卓球等教室の開催 - その他の活動団体（独自の活動を展開するとともに上記活動の協力） ・城北地区まちづくり防犯グループ/玉水愛育班/玉水いずみ会/城北地区体育委員会
	主な課題	・地域コミュニティが近年希薄化。三世代交流を柱に安全・安心で暮らしやすいコミュニティづくりをめざし取り組みが進む。地域活動も役員任せで参加率は低調。次代を担う人材発掘、リーダー養成が課題。 ・新規住民が増加した集落と少子高齢化、過疎化に悩む谷間の集落を抱え地域課題は多岐。
備考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



■高齡人口比率(H22.10.01現在)



年少人口比率	カラー	高齢人口比率
0～5%		40%以上
5～10%		35～40%
10～15%		30～35%
15～20%		25～30%
20～25%		20～25%
25～30%		15～20%
30%以上		0～15%

※年少人口比率：15 歳未満
人口が全体に占める比率
※高齢人口比率：65 歳以上
人口が全体に占める比率

地区カルテ（篠山市 篠山 岡野小学校区）

おかの

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
11	2,996	1,071	2.80	16.2%	21.9%	H22.10.01

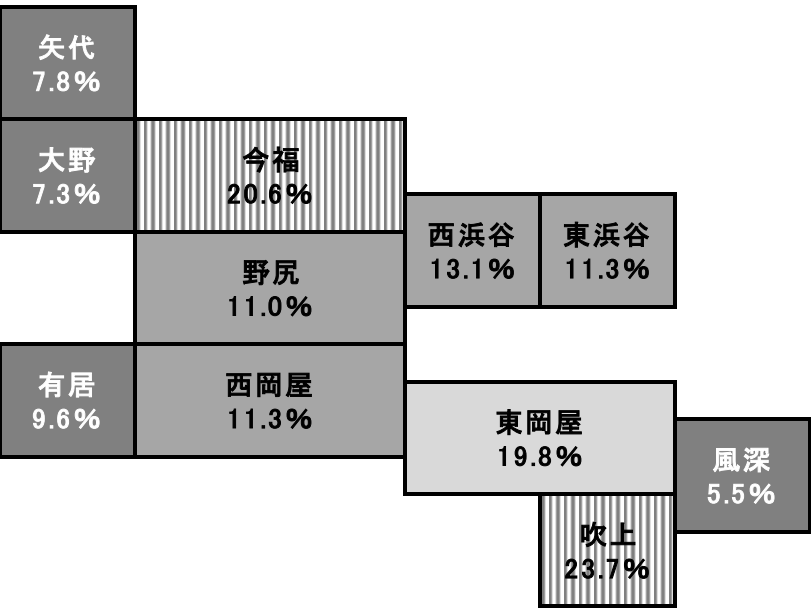
■概 況		
概況	位置・交通	・地形的に篠山市のほぼ中央に位置し、篠山城下町の西に隣接する。南に篠山川が流れ、北に 400m級の山がそびえ、景観にも恵まれている。 ・地区の真中を東西に主要県道が走り、交通に恵まれた地域である。
	成り立ち	・明治 22 年県令第 24 号により、現在の 11 集落で構成した「岡野村」が誕生した。 ・昭和 30 年の町村合併により篠山市が誕生し、昭和 50 年の多紀郡東部 3 町が合併して、新篠山市になったが、校区の変更はなかった。 ・明治時代に創設された歩兵 70 連隊の跡地には、県立篠山産業高校や県の施設が多数設置された。 ・岡屋地区の『岡』と大野地区の『野』をとって『岡野』と名づけられたといわれる。
	産業・生活	・地区の北側は農村地帯で田園が広がり、米作を中心に篠山の特産物である黒大豆やヤマノイモが多く栽培されている。 ・南半分は肥沃な農地があったが市街地が進み、住宅地が増えた（市外勤務者が多い）。スーパーやホームセンターなどが一角に集中している。 ・工場も建設され、車や農業機械の整備工場もあって、活気を帯びている。 ・北西の谷あいには大手産業の保養施設もあり、地域の利用者も多く、地元で働く人も多い。
資 源 ・ 施設	自然・環境	・市花「ササユリ」が北側山麓に自生し、地区の人が大切に保護している。 ・盃山の麓ではモリアオガエルの卵塊が見られるようになり、その存在が確認された。 ・圃場は耕地整理され、水路は三面張りの川となって生育する魚類はほとんど姿を消した。
	歴史・文化	・岡野のシンボルともなっている権現山には、諏訪神社があり、民話とともに安産の神として信仰も厚い。 ・北側の山麓には集落ごとに神社があり、その近辺には古墳などの遺跡も多い。 ・浜谷長源寺大師堂には、篠山藩から受け継いだ三つ葉葵の紋が残り、市指定文化財になっている。
	公共公益施設	・小学校近辺には県立篠山産業高校、スポーツセンター、篠山警察署、ハローワーク、県総合庁舎篠山分室など主要施設が集まっている。
地域づくり	主な組織と取り組み	・岡野自治会長会が地域の取りまとめ役として機能を発揮し、集落間の連絡調整に当る。 ・ふるさとづくり協議会が設置され、校区敬老会・校区スポーツフェスティバル・ふれあいまつりを中心に活動を展開している。 ・岡野文化会館(コミュニティセンター)を中心にして、スポーツ 21 やふるさとづくり協議会の拠点が集積している。 ・コミュニティセンターとスポーツセンターが一体化しており、有効に利用されている。
	主な課題	・地区の南と北の生活環境が異なっている（南地域は宅地開発が進み、新住民が多い。小学生の 7 割が新住民の子ども）。昼間は多くの住民が市外で働くため人通りは少なく、閑散としている。休日にも互いに顔を合わすことの少ない地域があり、『ふれあい』が課題。 ・市内小学校 2 番目の児童数を持つ校区であり、子どもを巻き込んだ地域活動が必要とされている。 ・430 戸から 27 戸の集落規模格差があって、集落ごとの課題が共通化しにくい中で、地区の将来ビジョンに基づいて各集落が協働していく必要がある。
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況

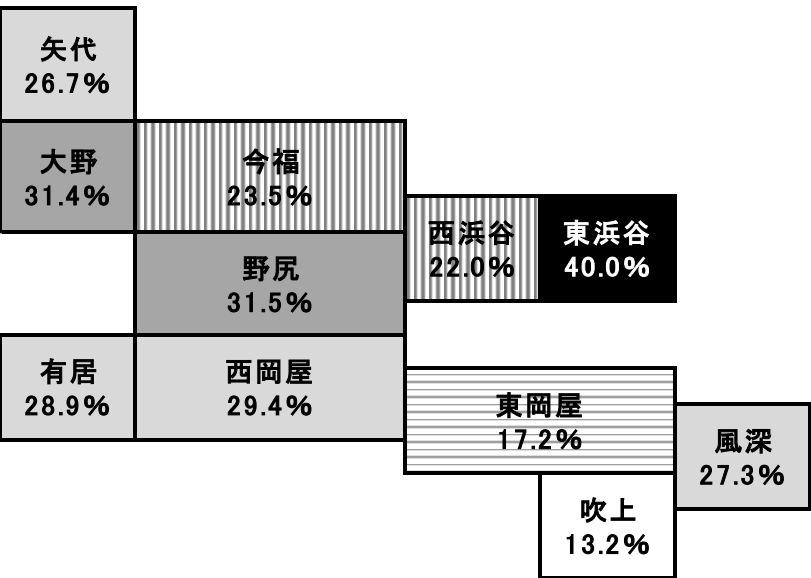
篠山市 岡野小学校区

E

■年少人口比率(H22.10.01現在)



■高齢人口比率(H22.10.01現在)



凡例

年少人口比率	カラー	高齢人口比率
0～5%		40%以上
5～10%		35～40%
10～15%		30～35%
15～20%		25～30%
20～25%		20～25%
25～30%		15～20%
30%以上		0～15%

※年少人口比率：15 歳未満人口が全体に占める比率

※高齢人口比率：65 歳以上人口が全体に占める比率

ひおき

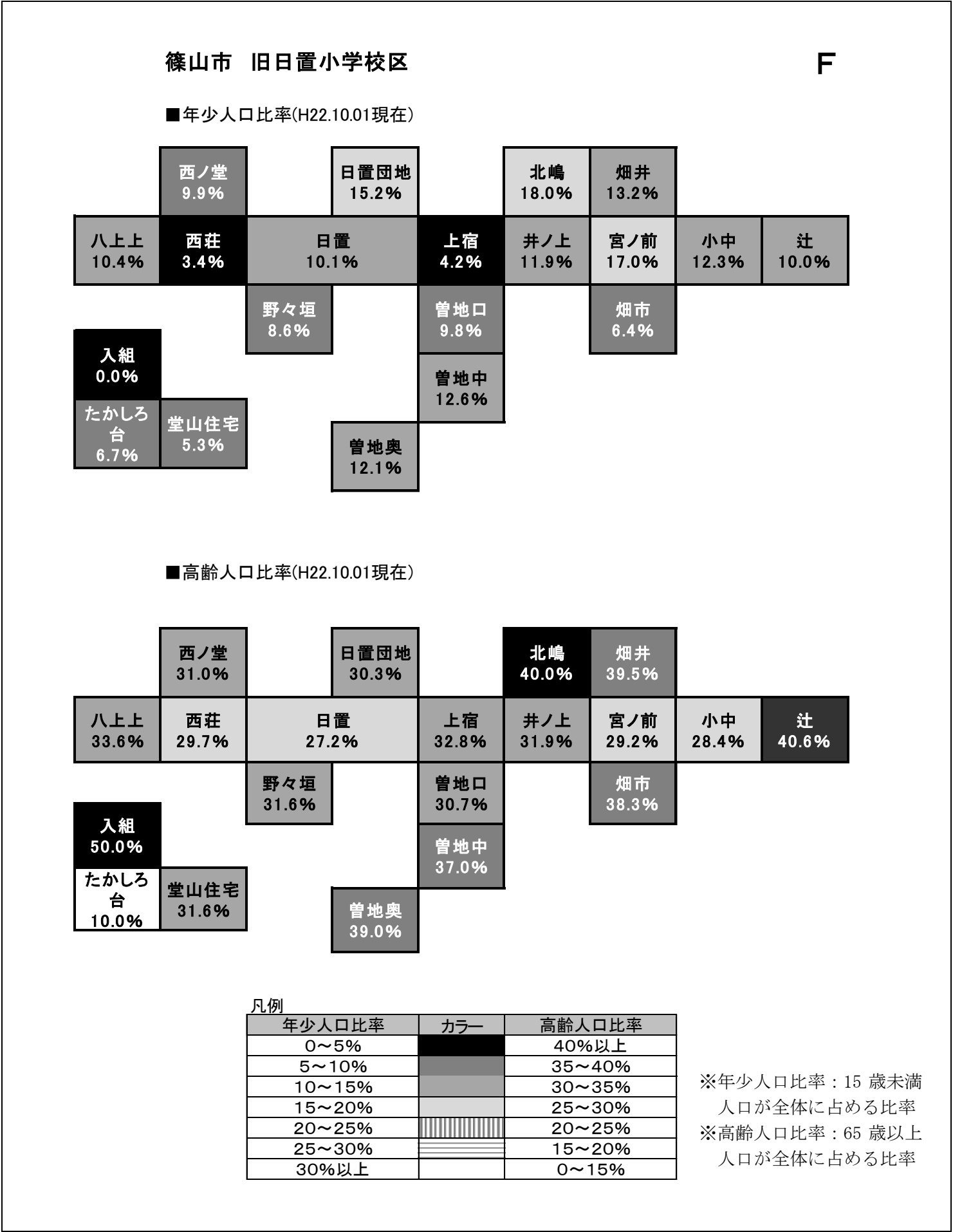
地区カルテ（篠山市 城東 日置地区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
20	2,179	768	2.84	10.3%	32.9%	H22.10.01

■概 況

概況	位置・交通	・篠山市の東部中央にあり、国道 372 号が東西に通る。東は京都に西は姫路へと続く。 主要地方道川西篠山線との交差点に位置し、旧城東町中心地の商業地として栄えた。 ・阪神・淡路大震災以後大型車両が増え、迂回路としても主要道路になりつつある。
	成り立ち	・丹波攻めで有名な「八上城」を拠点に、丹波一体を統治する波多野家の領地として栄えた。 天下普請の篠山城ができ、居城が移転してからは、一部城下町の面影を残している集落もあるが、純農村地域として今日まで続いている。 ・波々伯部・高城・曾地の3地区19集落があり、日置の地名はその中心地であった「八上新」が明治22年に「日置」に改名され、その集落にあった小学校の名称にも使われたことから校区名となり、地域名となった。小学校の統合により校区が地区になった。
	産業・生活	・日置集落のみが商業地で、他の集落は農業が主産業。日置集落に大規模工場あり。丹波黒大豆は、地域の大庄屋「波部六兵衛」（中立舎の創始者）が品種改良したもの。冬季は丹波杜氏として京阪神の酒造出稼ぎに行っていた。 ・日置集落内にミニスーパー、銀行、郵便局があり、地域の中心地になっている。
資 源 ・ 施設	自然・環境	・弥十郎ヶ嶽から流れ出る辻川と曾地川が篠山川と合流し、豊かな土壌と自然はホタルの里、黒豆の里として地域が自負できる環境となっている。
	歴史・文化	・古墳時代・中世の歴史遺産も多数。「洞中古墳1号、2号（市指定史跡）」「波々伯部神社（おやま行事は国指定無形文化財）」や「日置のハダカガヤ（国指定天然記念物）」のある「磯宮八幡神社（国重文仏像が2体）」「西光寺（国重文仏像が4体）」など。 ・江戸中期に始まった「石門心学」の学舎「中立舎」（寺小屋）跡が現存。かつて1日900人を越える男女の子どもたちが学んだ。郷土愛に学び志を受け継ぎ、新しい時代の暮らしを創造し継承すること、「学びの里日置」をまちづくりのスローガンにしている。
	公共公益施設	・城東小学校・城東支所・城東公民館・郵便局・駐在所がある。
地域づくり	主な組織と取り組み	・自治会が各種団体に呼びかけ、「日置地区まちづくり協議会」は9部会の専門部がある。 ・安全安心部会は、防災訓練・登下校の見守り活動・防犯パトロールを展開している。 ・環境・衛生部会は、環境美化、ゴミの分別、不法投棄ゴミの監視活動をしている。 ・ふるさと交流部会は、盆踊り大会・通学合宿を通じて、世代間交流と地域交流を展開。 ・健康づくり部会は、スポーツ21事業を中心に各種スポーツを通じた健康増進活動。 ・住民学習部会は、誰もが個性豊かに人権を守りあうための学習活動を推進。 ・生きがいつくり部会は、芸術文化活動や伝統・伝承文化を継承する活動を推進している。 ・ふれあい福祉部会は、いきいき交流サロンや子育てほっとステーションを開設運営。 ・ふるさと営農部会は、特産品の黒大豆「波部黒」のブランド展開と「味まつり」を実施。 ・広報部会は、機関紙とホームページによる情報発信をする。 ・他に活動実績は平成丹波こころ学講座、日置軒先ミュージアム、中立舎清掃活動など。
	主な課題	・役員の高齢化は各種団体の大きな課題であり、若い世代の協働参画を進めることで地域活動の中核となる次世代を育成すること。 ・3つの小学校が統合されたことによる、新しい校区活動と「ふるさとづくり運動」の展開を検討する時期にきている。 ・高齢者の生きがい創造の機会として、手づくり工房と熟練者バンクを創出すること。 ・中立舎を活用した「学びの里日置」の啓発と学習活動プログラムの推進。
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



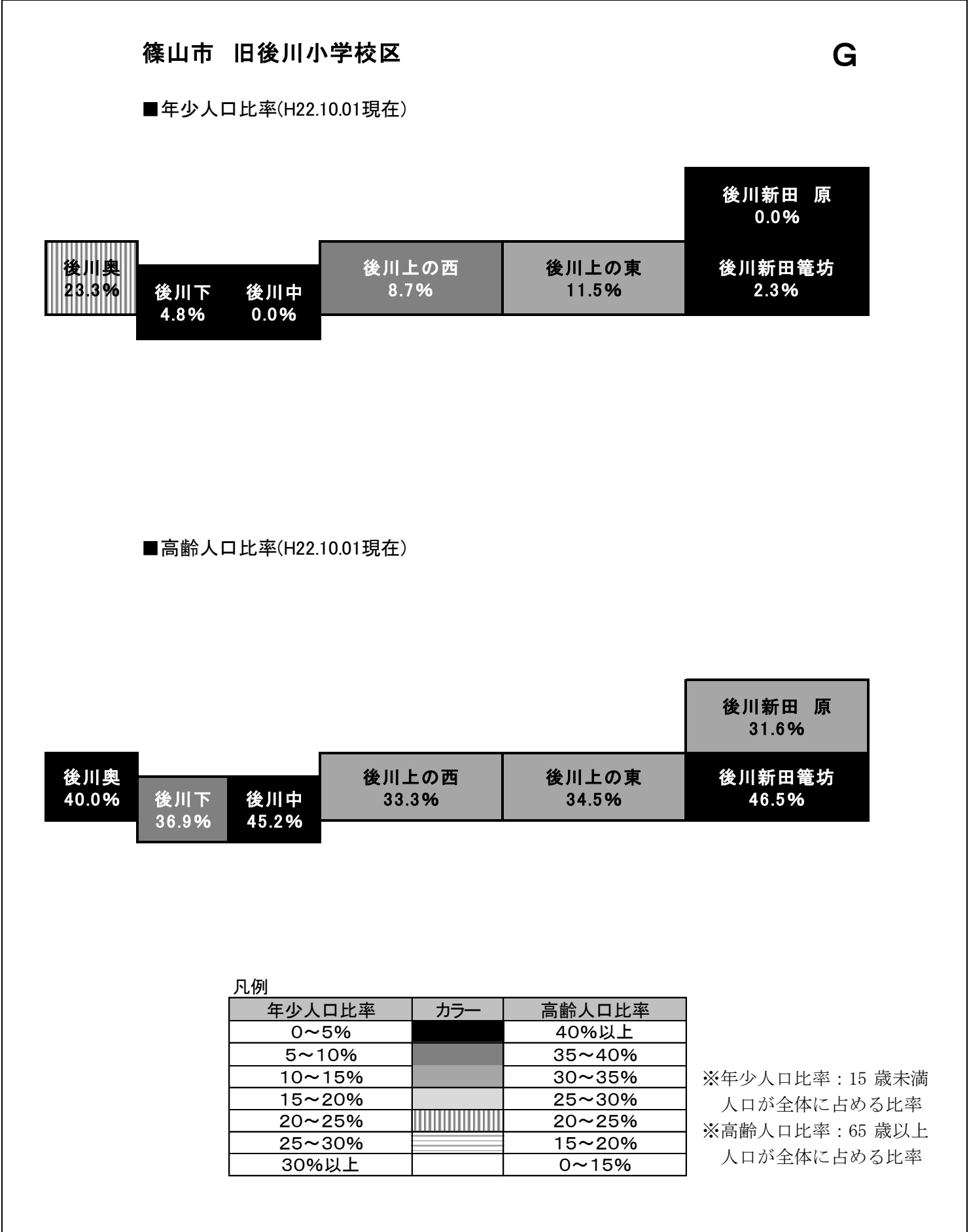
しつかわ

地区カルテ（篠山市 城東 後川地区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
7	482	175	2.75	6.8%	38.0%	H22.10.01

■概 況		
概況	位置・交通	・篠山市の東南端に位置し、東は大阪府能勢町、南は猪名川町、西は三田市に接する。四方を山に囲まれ、標高およそ 340m、南北に狭く、武庫川の源流羽束川が地域を東西に縦走するおよそ 10km の間に 7 集落を形成している。 ・主要地方道川西篠山線により北方面は古坂峠を経て篠山市中心部、南方面は猪名川町から川西市に通じ、三田市方面には羽束川沿いに県道三田後川上線により通じる。また籠坊（かごぼう）集落から東へ約 10 分で大阪府能勢町天王地区・国道 173 号に通じる。
	成り立ち	・古墳が存在しないこの地区は、深い山々に囲まれた辺境の地であったので、村の起源は遅れたと考えられる。地形からして羽束川沿いに上ってきた人によって開かれたであろうといわれている。 ・奈良時代・天平 20 年（748）には東大寺が荘園として領有した最も古い荘園で、一時期藤原氏領でもあったことが知られている。
	産業・生活	・農業を主産業とし、嘗ては林業や冬季の酒造出稼ぎも盛んであった。お米は食味の良さが高く評価されている。古くからお茶・山椒・栗が特産品としてよく知られているが、近年後継者不足から衰退傾向にあり、特に茶畑の荒廃が目立つ。 ・公共交通としては、篠山市中心部、三田市方面へは神姫グリーンバスが、猪名川町・川西市方面へは阪急バスがそれぞれ 1 日数便ある。 ・篠山市中心部並びに三田市・川西市方面へは車で 20～40 分程度で通じ、篠山市のほか、三田、川西方面を生活圏とする者も多い。
資源・施設	自然・環境	・四方を囲む 500m～800m の山々と溪谷が、四季折々に織りなす景観は、訪れる人々に大いなる安らぎを与えている。 ・地域内を縦走する羽束川やその支流をなす溪流にはオオサンショウウオ・ゲンジボタル・ヤマメが生息し、カジカガエルの鳴き声も聞かれる。
	歴史・文化	・平家の落ち武者が傷を癒し、隠れ住んだと伝えられる籠坊集落には、その霊を供養した五輪塔跡が存し、籠坊温泉は往時 10 軒近くの旅館・民宿が軒を連ね繁栄を見せた。 ・藤原氏の氏神・春日大社のご分霊を勧請した原集落の元宮（現八幡神社）、それを分社した上春日神社・中春日神社がそれぞれ地区の氏神として大切に祀られている。 ・室町時代・応永 30 年（1423）創建の清陰寺（曹洞宗、中集落） ・後川稻荷神社が清陰寺の境内、左手奥に祀られている。
	公共公益施設	・丹波篠山溪谷の森公園（コテージ・オートキャンプ・バーベキューハウスなど） ・後川文化センター（会議・研修・サークル活動・デイサービスなど） ・後川複合教育施設（旧後川小学校跡、多世代・地域間交流、キャンプ、体験活動など） ・天空農園：歴史ある古民家をふたたび活性化しようとするプロジェクトの施設
地域づくり	主な組織と取り組み	・後川地区自治会長会、後川郷づくり協議会（行政との連携、地域づくり活動） ・ふるさとを守る会、愛育班（地区の女性組織、環境美化・福祉活動） ・スポーツクラブ 21 後川（交流と健康づくり）
	主な課題	・地域産業の振興（特産物振興、農地・山林を防ぐ） ・高齢者が安心して暮らせる地域づくり（買い物・医療・交通など） ・後川複合教育施設（旧後川小学校跡地）の有効活用（地域活性化のために）
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



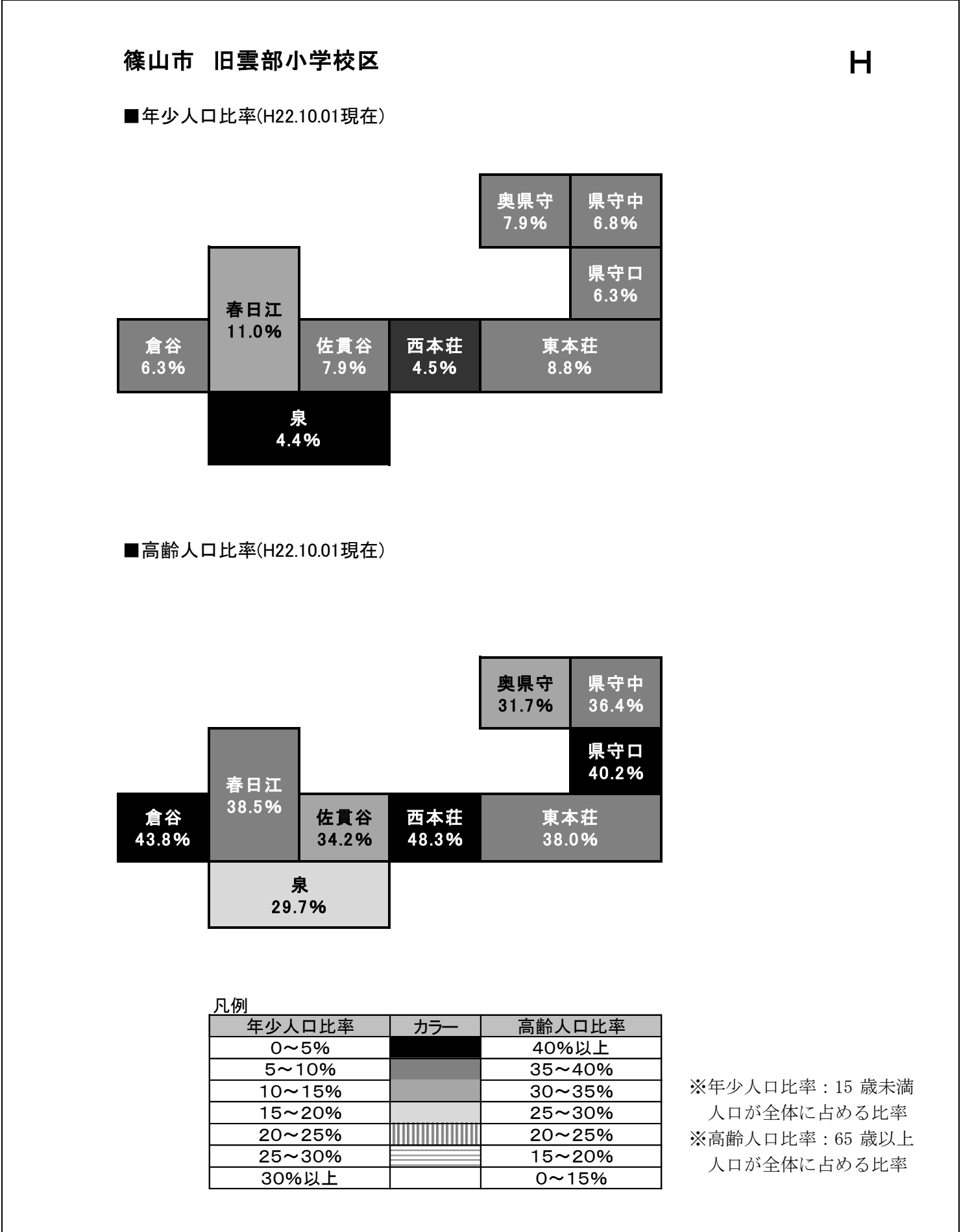
くもべ

地区カルテ（篠山市 城東 雲部地区）

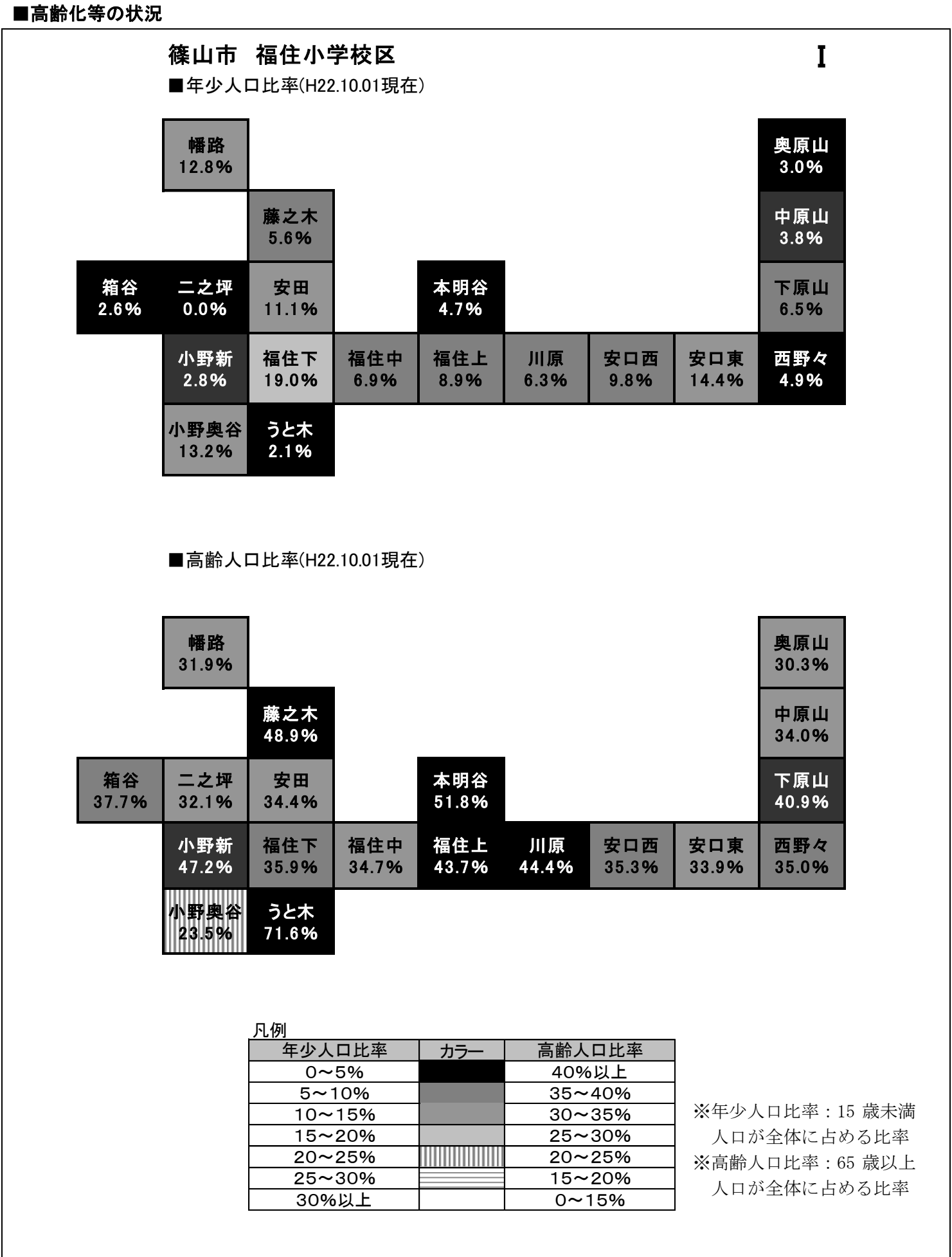
集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
9	1,016	372	2.73	7.3%	36.8%	H22.10.01

■概 況		
概況	位置・交通	・篠山市の北東部、京都との境に位置する東西約3km、南北約4km の山間の農業地域。9集落からなる。 ・北側に多紀連山の支脈が連なり、南には加古川支流一級河川篠山川が流れる。 ・県道京丹波線、瀬利小田中線、泉八上新線、瀬利泉線の4路線が地区内を通り、公共交通に神姫バス、篠山東中学校のスクールバス、コミュニティバスがある。 ・ほぼ中央の芦坂峠によって東部と西部に分かれ、東を「東雲」、西を「西雲」と呼んでいる。
	成り立ち	・雲部の地名は、平安時代に荘園であった東隣の「村雲庄」の「雲」と西隣の「曾我部庄」の「部」をとって「雲部」と名づけられたと伝えられている。 ・県下第2位の規模を誇る全長140mの前方後円墳「雲部車塚古墳」、鎌倉時代末期に創建されたもみじの名所「洞光寺」、市内展望随一の名峰「衣笠山」、古い社寺などが多く、歴史のある地区である。 ・地区の中心部は、旧雲部小学校、雲部公民館のあたりで、村役場やJA丹波ささやま雲部支所、古くは雲部保育所等もあった。
	産業・生活	・主産業は第一次産業であるが、農家の大半は他に収入を求める兼業農家である。国の農業施策によって、米以外の黒大豆や大納言小豆、山の芋等が栽培され、今や丹波ささやまの特産品として定着している。
資源・施設	自然・環境	・篠山川にはアユ、ハヤ、オイカワ、うなぎ、こい、ふな、カワムツ等々 ・支流の高野川ではオイカワ、カワムツ、ゲンジボタル、ヘイケボタル、どじょう、タニシ、サワガニ。 ・奥県守、法円寺の住職が大切に育てている「ささゆり」 ・キンボウゲ科の「一輪草」。
	歴史・文化	・奥県守：法円寺・稲荷神社、県守中：稲荷神社、県守：いごり塚古墳・春日神社、県守口：応仁坂～～旧播磨街道の一部、東本荘：雲部車塚古墳・寶鏡山洞光寺・姫塚・興福寺、西本荘：大日堂・大日如来・慈眼寺、佐貫谷：白山（妙理権現）神社・氷室、春日江：カヤの木・極楽山観福寺・熊按神社・五位塚・藤岡山古墳・藤岡山遺跡、泉：鰐口・竜泉寺の鐘楼・八幡神社・南賀寺、倉谷：天満宮
	公共公益施設	・旧雲部小学校、雲部コミュニティセンター、篠山警察署、雲部駐在所、篠山本荘郵便局
地域づくり	主な組織と取り組み	・くもべまちづくり協議会（会長：西嶋忠一 H18.9～）：地域の個性を大切にしながら、数多くの協同活動を行うことにより、地域力を高めるとともに、課題解決に向けて住みよい地域の形成を図っている。 ・傘下の諸団体：雲部地区自治会長会（会長；西嶋忠一）老人会、小・中学校PTA、いずみ会、愛育班、更生保護女性会、民生児童委員会、各文化団体、消防団、商工会、人権のまちづくり推進員、市議会議員、有識者、旧小学校施設管理員、スポーツクラブ 21くもべ、農業委員、生産組合、市役所職員 0B、地域出身市役所職員
	主な課題	・高齢化の進展や小学校の閉校という現実がある中で、跡地の利活用計画を全体計画の中心において、当地区の10年先、20年先を見据えつつ、都市と農村の交流も含めた、定住促進につながる活性化計画を樹立すること。
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



地区カルテ（篠山市 多紀 福住小学校区） ふくすみ						
集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
19	1,584	626	2.53	8.1%	39.9%	H22.10.01
■概 況						
概況	位置・交通	・篠山市の東端に位置し、南は大阪府、東は京都府に接し、国道 372 号に沿って形成されている地域。 ・国道 173 号が南北に、また 372 号が東西に地区内を交差して通っている。 ・バスは、神姫グリーンバスが篠山口駅まで、京阪京都交通が園部駅まで運行している。				
	成り立ち	・平安時代「小野庄」と号され、古代山陰道に「小野駅」が置かれるなど、古くから交通の要衝として開けた場所であった。 ・江戸時代になると京街道が整備され、宿場町として本陣や脇本陣があり、多くの商家も軒を並べて栄えた場所であった。 ・「永享以来御番帳」や「応仁武鑑」で丹波福住一万五百石と書かれており、「福住」の地名が最初に出てくる。江戸時代には「福住組」と呼ばれていた。				
	産業・生活	・その昔は農林業を中心とし、冬季は灘等への酒造出稼ぎが主であった。現在は、高齢者に依存する農業が中心である。 ・買い物等は公共交通の便が悪く、マイカーを利用して近隣市町への依存が高い。福住本陣団地が位置するため福住下地区は年少人口比率が高い。				
資 源 ・ 施設	自然・環境	・靱井川等には、ゲンジボタルが生息。小魚等を見ることが出来る。ささやまの森公園等にモリアオガエルが生息。 ・安田の大杉：樹齢 700～800 年。県指定の天然記念物。現在安田老人会で掃除している。				
	歴史・文化	・住吉神社（水無月祭り）、熊野神宮神社（八朔祭り） ・旧京街道の街並み（重要伝統的建造物群保存地区の指定に向けて調査中）、関所跡（関所川） 亀山藩と篠山藩の分岐点、靱井城跡：交通の要所に築かれた靱井氏の居城 ・青山忠朝公真筆（風）（市指定有形文化財、個人所有） ・住吉神社「住之江の庭」：社務所の表と裏に重森三玲作庭の庭あり。				
	公共公益施設	・福住小学校・福住幼稚園・市役所多紀支所・コミュニティセンター・県立篠山東雲高校（いずれも福住に集積している）。福住下に市営福住本陣団地あり。 ・CSR 公園ささやまの森公園が立地。毎年 10 月半ばに「秋の里山祭り」を実施。 ・さんば家ひぐち（まち協拠点施設）あり。常駐者はいないが、定期的にワークショップや会合を開催している。				
地域づくり	主な組織と取り組み	・老人クラブ（9）、婦人会組織、民生委員会、消防団、交通安全協会、防犯協会、いずみ会がそれぞれの団体ごとに活動。 ・まちづくり協議会：福住に関わるだれもが参加できるコミュニケーションサイト「福住さとねっと」の運営、地域の交流拠点「さんば家ひぐち」の運営（田舎農業体験ワークショップ等の実施）、住民を対象としたパソコン教室の開催。 ・ふくすみ 2030 プロジェクトチーム（会長 関口和史）：都市との交流事業・福住の魅力を再発見する事業等を通し、2030 年には福住の人口を倍増することを目標に地域の活性化を図る若者チーム。 ・福住まちなみ選定準備委員会：重要伝統的建造物群保存地区指定に向けて活動。				
	主な課題	・まちづくり協議会が総括的な活動で空き家の利活用を推進し、活性化していく必要性。 ・集落の担い手不足により行き届かなくなった農地・山林の保全管理の推進。 ・歴史的な町並みづくり（町並み保存と活用・歴史街道案内ボランティア養成）の推進。 ・交流の空間づくり（三世代交流や都市との交流事業）の推進。 ・匠のわざ（飾り大工等）、伝統のわざ（醤油造り等）の継承。				
備 考		2011.11.30 作成				

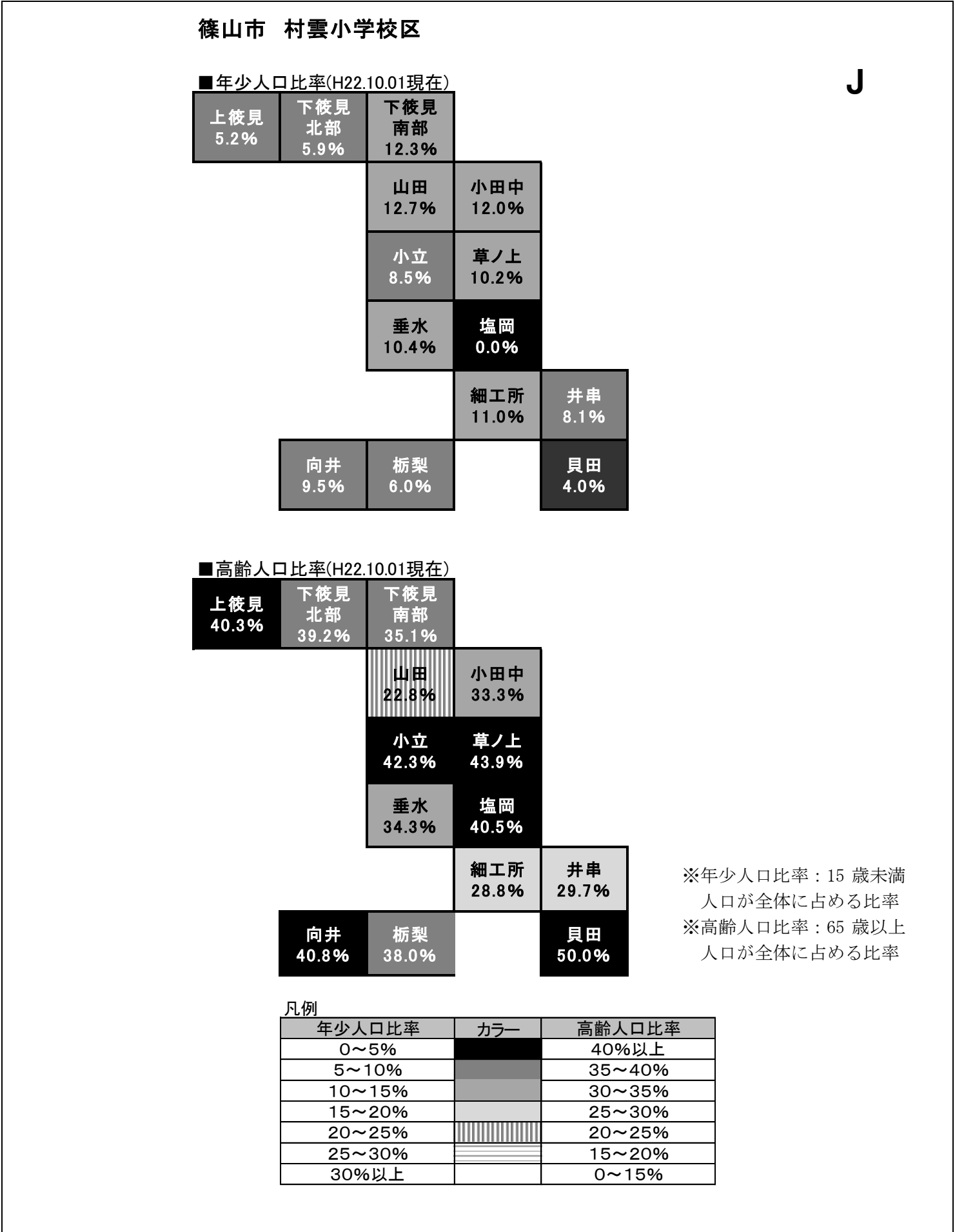


地区カルテ（篠山市 多紀 村雲小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
14	1,056	385	2.74	9.1%	36.7%	H22.10.01

■概 況		
概況	位置・交通	・篠山市の東側にあり、国道 173 号に沿って両側に開けた地区。 ・国道 173 号の福住地区から天王峠を通じて能勢町（大阪府）、大芋地区から板坂峠を通じて京丹波町（京都府）に接する。
	成り立ち	・村雲地区は交通の上で大切な場所であり、農耕地に恵まれ住環境もよく、古くから生活が営まれていた。北条古墳、岩井山古墳群、稻荷山古墳など、5 世紀後半から 7 世紀初めに作られた多くの古墳、遺跡がある。 ・西の大峰山といわれた山岳、三岳の脇寺（塔頭のお寺）である清瀧山の清楽寺（通称 清滝さんの観音堂）、東明寺の薬師如来本尊（白鳳年代）がある。
	産業・生活	・兼業農家が中心で、企業は西宮の「百万石酒造産業」「八興化成」の 2 社のみ。 ・東雲診療所があるが、病院等は旧篠山市内に依存。買い物なども同様市の西地区に依存する。公共交通はコミュニティバスが運行。
資源・施設	自然・環境	・校区の中心を大芋川が流れ、集落を山が囲い田畑が存在する典型的な田園地帯である。 ・一部北条地域の大芋川には、ゲンジボタル、ヒメボタルが生息する。 ・大芋川沿いの桜並木の景観は、春の桜祭りの頃は見事である。 ・多紀アルプスの水を集めてできた筱見四十八滝（計 8 の滝の水が始終流れている）がある。多紀連山県立自然公園に含まれ、青少年野外キャンプ場になっている。
	歴史・文化	・那須与市ゆかりの地として「那須与市大権現」をお祀りする霊輝山の瑞祥寺がある。 ・左近神社祭礼（10 月）には 5 台の山車（太鼓みこしに四輪の御所車がつく）がでる。 ・波多野秀治に属し「丹波鬼」と恐れられた荒木山城守氏香が築いた細工所城跡。 ・筱見四十八滝は、中世には付近には六カ寺があって栄えた山岳修験場であった。 ・清楽寺は、天正の乱で明智光秀の八上城攻略時の兵火にあって消失し再建された。 ・長福寺は、旧大芋小学校を移築した、少し変わった寺である。
	公共公益施設	・小学校、郵便局、ハートピアセンター、東雲診療所、篠山市東部地域包括支援センター、篠山東デイサービスセンター等が国道 173 号沿いにある。 ・子供を対象とした「生きる力」を学ぶ体験施設、篠山チルドレンズミュージアム（有料）。
地域づくり	主な組織と取り組み	・校区自治会長：集落単位のいろいろな取り組みと校区単位での取り組み。 ・村雲まちづくり自主防犯グループ：校区内の防犯対策。 ・村雲スポーツ 21：スポーツを通じて健康促進および趣味の共有化。 ・村雲まちづくり協議会：元気で明るいまちづくりの推進。野外イベント広場がある。「実行委員会」を組織。大切な資源（古墳群、寺、滝、修験道跡など）を生かし、まちづくりを行う。奥篠山ウォーキングラリー、さくら祭りなどのイベント企画。伝統芸能（猪子・水無月祭りなど）生活文化の保存・伝承を進める。広報活動、まち協だよりや HP などメディアによる情報発信を行う。いきいき塾・おとこの料理教室・サロン、お助けボランティア（お年寄りへの声掛け、買い物など）、朝市の設置。
	主な課題	・少子高齢化・人口減少への対策（高齢化率 36.7%） ・農地の休耕田・放棄田対策、獣害と農業後継者対策。農業活性化「特産品」開発。 ・高齢者の通院・買物の交通手段（足）の対策と整備。 ・少子化による小学校の統廃校問題。 ・篠山チルドレンズミュージアムとの連携 ・NPO 化（持続可能な活動にするため） ・HP の充実（情報発信力を拡大）
備 考		・村雲まちづくり協議会（現在 351 名）NPO 法人「たまごママネット」加盟 2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



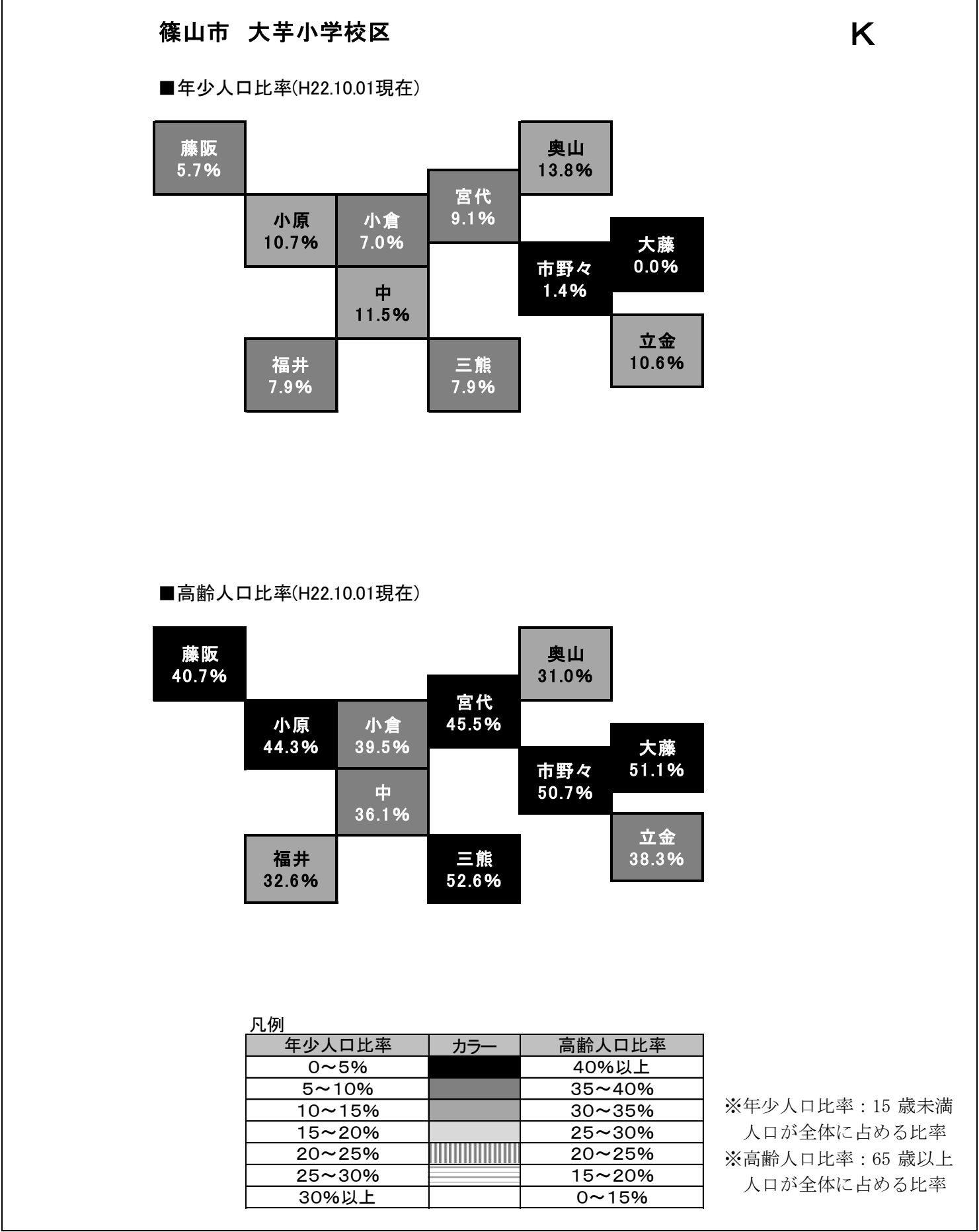
地区カルテ（篠山市 多紀 おくも 大芋小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
11	950	367	2.59	7.9%	40.2%	H22.10.01

■概況

概況	位置・交通	・篠山市の最東部に位置し、京都府（京丹波町）に隣接している。 ・大阪北部と京都府綾部市を結ぶ国道173号が南北に通過している。 ・県道本郷藤坂線（300号）と府県道篠山京丹波線（702号）が地域の生活道となっている。
	成り立ち	・南北朝期から戦国期にあった荘園であり、古くは大雲と表記された時期もある。 ・大芋一族等の山城跡（※） ※大雲城（豊林寺城）森本城・山上城・白藤城・藤坂城、小谷丸
	産業・生活	・大芋小学校区11集落で形成され、うち7集落は高齢化率が40%を超えている。 ・農林業及び珪石の鉱山が主要な産業であったが、現在は兼業的農業が主である。商店は地区内に一店のみである。
資源・施設	自然・環境	・藤坂川、大芋川（篠山川）、奥山川にはゲンジボタルが生息する。 ・八ヶ尾、毘沙門山、雨石山、櫃ヶ岳等、地域をとり囲む山々には四季おりおりの花々（セツブン草、ヒカゲツツジ、イチリンソウ、ニリンソウ等） ・藤坂の大桂、小原の大日堂の大イチョウ
	歴史・文化	・櫛石窓神社は、778年、陽成天皇の勅吏がお参りされたとの記録があり、近郷48ヶ村の総社として栄えた。 ・澤山長屋門（1540年頃建立）には、侍が住んでいたと伝えられている。 ・妙見堂：丹波地域最古の構造物（1339年建立）
	公共公益施設	・三度の市町村合併で公共公益施設が減少し、現在、大芋小学校、福井郵便局、大芋駐在所、大芋公民館及び11集落の公民館
地域づくり	主な組織と取り組み	・大芋活性化委員会：小学校区を単位としたまちづくり協議会 ・大芋自治会長会 ・スポーツクラブ21大芋 ・宮代企業の森づくり協議会：阪急阪神ホールディングとの提携 ・大芋げんき森盛の会：平成22年度より里山ふれあい森づくり事業 ・大芋の楽農かまど運営委員会：小規模集落元気作戦によって平成23年度に立ち上げた。
	主な課題	・11集落のうち7集落で高齢化率40%をこえており、少子化が急激に進んでいるので、若者の定住、地域福祉が大きな課題 ・農業後継者の減少の中で、農地の保全と担い手の育成
備考		2011.11.30作成

■高齢化等の状況



にしきみなみ

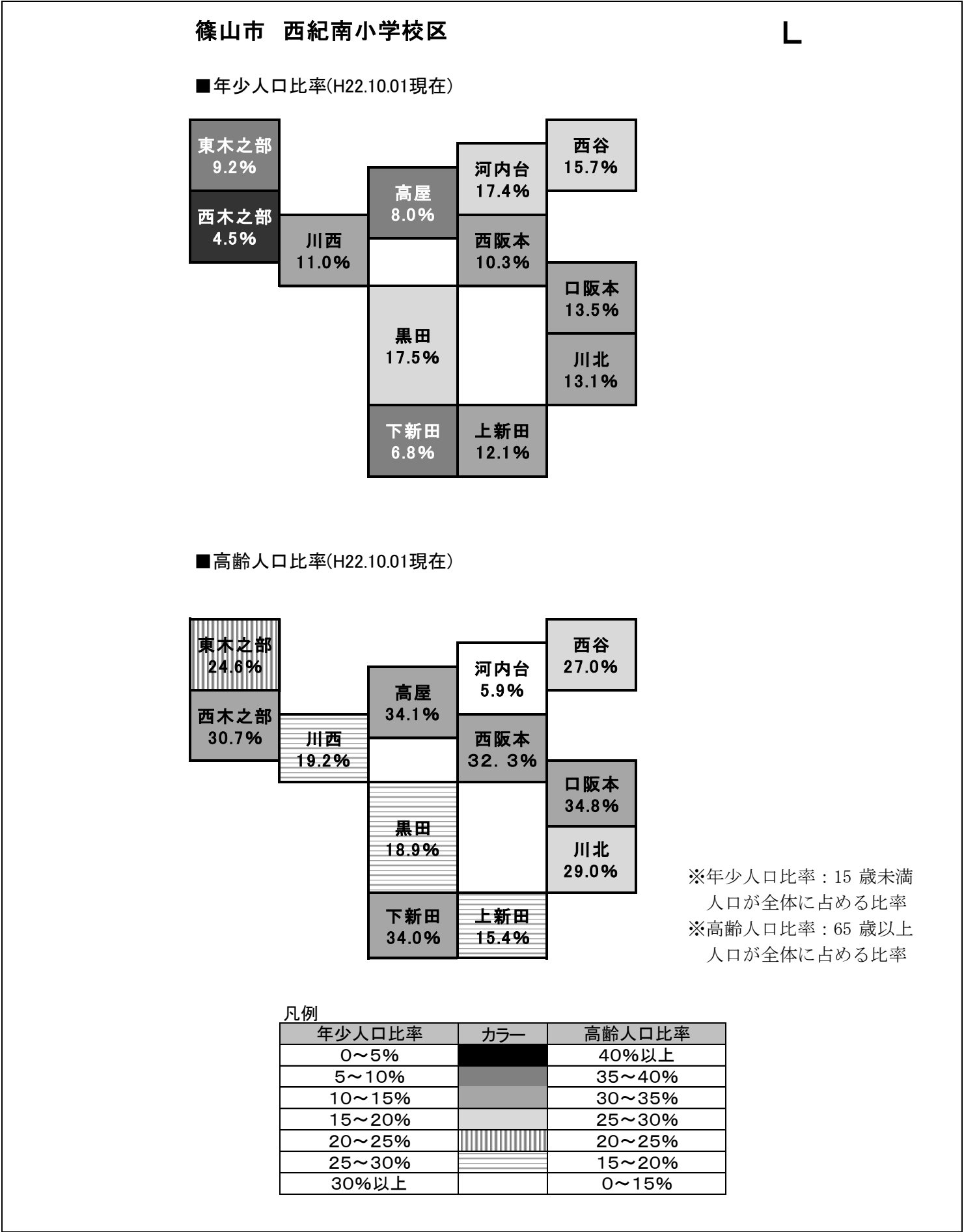
地区カルテ（篠山市 西紀 西紀南小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
12	1,992	787	2.53	12.9%	23.7%	H22.10.01

■概 況

概況	位置・交通	・篠山市の西部、旧西紀町域の南端部に位置する。篠山川と宮田川の合流地点にある。 ・JR 篠山口駅、丹波大山駅ならびに舞鶴若狭自動車道の丹南篠山口インターが近く、国道 176 号をはじめとする主要幹線や交通機関とのアクセスが良い。 ・地域交通：篠山と丹波市方面を結ぶ街道を引き継ぐ東西方向の 2 本の県道（37 号篠山山南線、140 号線）、篠山と京丹波市方面を結ぶ南北の県道（97 号篠山三和線）がある。近年、西紀トンネルによって西谷からアクセスできるバイパスも開通。
	成り立ち	・黒田少将山裾でかつて弥生土器片が採集されたとされ、黒田遺跡、口阪本遺跡等の弥生時代遺跡が知られ、くらしの起源は約 2000 年前に遡ることができる。 ・黒田少将山は、篠山川と宮田川が合流する地点にあり、この地域の草創にまつわる伝承がある。その昔、千種少将顕経あるいは丹波国司藤原少将成経という武将が住んでおり、いわば川に囲まれた砦としても位置づけられた地であったとされる。
	産業・生活	・農業では、特産物として全国的にも知れわたった川北黒大豆の生産地であり、秋には沢山の方々が黒豆の枝豆を求めて訪れる。あわせて山芋の生産も盛んである。 ・地域振興施策・産業育成として製造関係企業の誘致が図られ、のどかな田園景観のなかに中規模の工場が点在する。 ・小規模な住宅団地が数カ所みられ、徐々に増加する傾向にある。
資 源 ・ 施設	自然・環境	・篠山川と宮田川の合流地点の背後にあり、地区の中央や所々に島状に点在する独立丘陵と平坦な沖積地・段丘からなる。丘陵は多紀連山県立自然公園の南西裾部にあり、市街地との接点とすることができる。 ・宮田川の下流に位置し、春の延長 1.2km にわたる桜並木の景観は圧巻である。 ・生きている化石といわれる「現生カイエビ」の生息（研究の材料として関心が高い）。 ・寸原の大ケヤキ（樹齢 300 年以上）
	歴史・文化	・茶臼山史跡（別名少将山）、浄法寺の舍利厨子、宝篋印塔と薬師堂、観音堂（耳薬師）、普賢菩薩碑（道祖神）、篠山城採石場跡残され石群（西紀 SA 内移設） ・畦畔木や柿の木のある田園風景
	公共公益施設	・黒田・川北新田周辺に西紀南小学校、西紀南幼稚園、西紀南コミュニティセンター等。 ・旧西紀町の官公施設が集積する西紀宮田地区に隣接する高屋や西谷周辺に、西紀中学校、西紀運動公園、西紀郵便局等の広域の市民対象施設が立地している。 ・各自治会の自治会館、コミュニティ広場等
地域 づくり	主な組織と取 り組み	・西紀南自治会長会（会長西田氏）：まちづくり協議会と密接に連携して活動を実施 ・スポーツクラブ 21 にしきみなみ（代表北山 豊）：西紀南地区の住民がスポーツを通じた健康促進とふれあいの場として活動を行っている。 ・まちづくり協議会：地域振興部会／都市部の方々と農村ボランティア事業として、黒豆の種蒔きから収穫まで一緒に実施している。 福祉文教部会／若者からお年寄りまで健康増進を目的としたヨガを毎週 1 回継続実施。
	主な課題	・農業の後継者減少に歯止めを行う仕組みづくり（若者の定住促進）。 ・遊休地の有効活用推進（景観作物、市民農園）。 ・新規居住者（住宅団地等）と地域住民の交流をはじめとするコミュニティ形成。
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



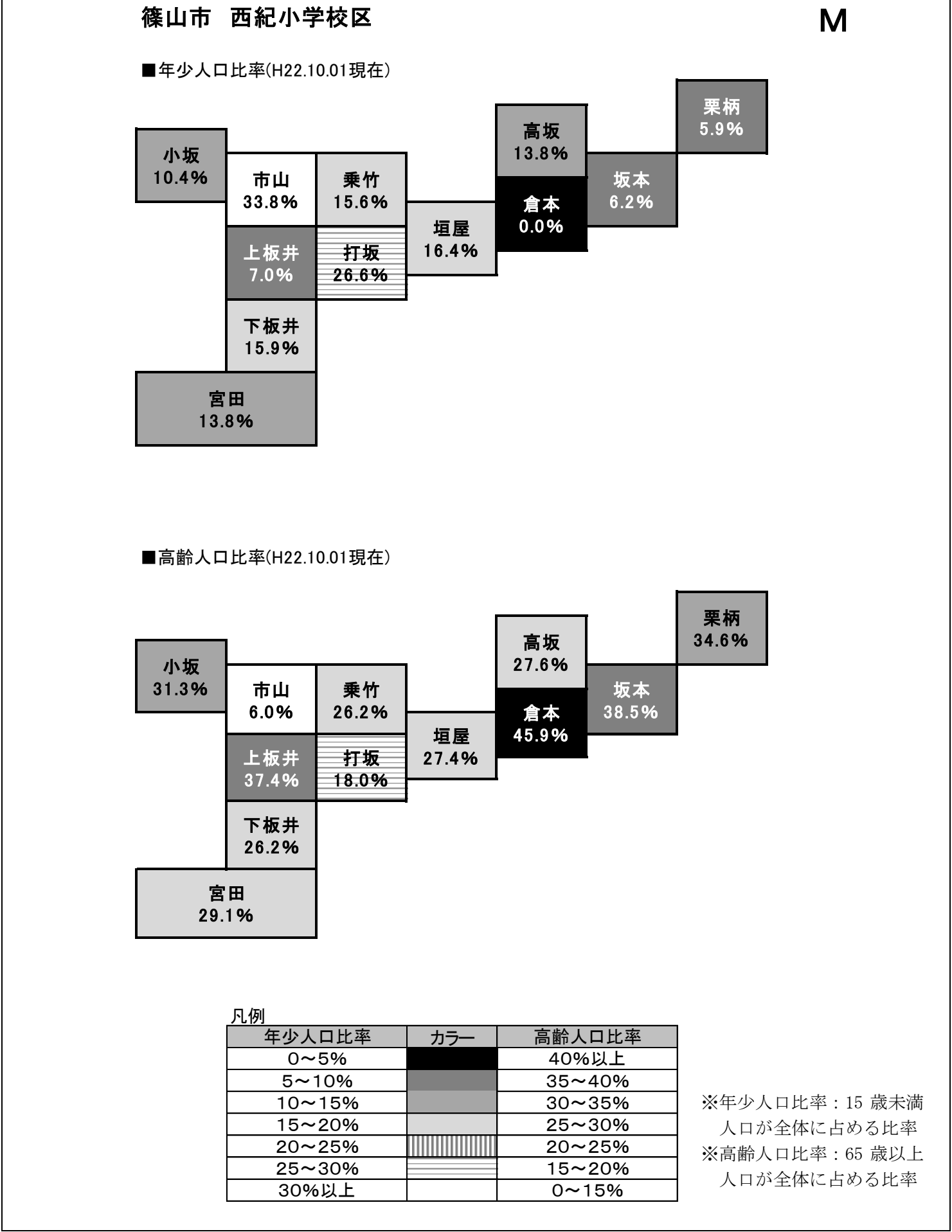
に し き

地区カルテ（篠山市 西紀 西紀小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
12	1, 630	537	3. 04	13. 9%	28. 6%	H22. 10. 01

■概 況		
概況	位置・交通	・篠山市の北西部に位置し、宮田川の谷筋に細長く（約 10 km）開けた地区。 ・主要道路（県道 97 号・篠山三和線）には、路線バス（JR 篠山口方面＜6 往復/日＞、西紀支所から篠山市街方面＜5 往復/日＞）が運行しているが、バス停まで遠いところでは 2 km 以上あり、高齢者には利用がしにくい。地区南部には、篠山と氷上を結ぶ東西の道（県道 140 号・長安寺篠山線）が通る。 ・神戸、大阪方面へは、車では舞鶴若狭自動車道丹南篠山口 IC、JR では篠山口駅を利用。
	成り立ち	・伝承によると、日本海あるいは川沿いに但馬から郡界である狭仲峠（佐中峠）を越えて来た出雲系の氏族や、川伝いに滝の宮周辺に登りついた氏族が居を占めたとされる。 ・小坂・宮田周辺は、東西に縦貫する県道 140 号が古代山陰道跡の有力な候補地のひとつであり、古くからの交通の要所として重視され、付近一帯には数多くの文化財（遺跡）や伝統的な街村が存在する。古代末から中世には、近衛家（京都）の宮田荘を中心に、栗柄の葛川明王院（近江）領などの荘園が設けられた。
	産業・生活	・産業は畜産、養蚕を含めた農業と林業で栄えていたが、現在は農業が主体である。稲作を中心として、昔からの山の芋生産、近年は黒豆の栽培も増加し、どちらも地域の特産品である。 ・高齢化が進み後継者不足が生じ、山林や山間部の田畑は荒廃が進んでいる。若者の農業離れで農業の担い手養成等の条件整備が急がれる。 ・生活面では、地区内に医療機関が皆無。食料品等の店も南端のみ。
資 源 ・ 施設	自然・環境	・多紀連山に囲まれた宮田川、小坂川には、ゲンジボタルが生息する自然豊かな地域。 ・宮田周辺の篠山層群では、太古の化石（恐竜・哺乳類化石）が出土。 ・川内多々奴比神社境内の「たらちねの銀杏（樹齢 300 年以上）」（上板井） ・天満神社境内の「五葉松（樹齢 700 年以上）」（宮田）
	歴史・文化	・宮田から小坂周辺の史跡群／遺跡：板井・寺ヶ谷遺跡、箱塚古墳群・上板井古墳群等の古墳群、内場山城跡・板井城跡等の城跡、史跡：光照寺石造宝篋印塔（宮田・南北朝時代）、佐中峠、鏡峠（鏡岩）、阿弥陀淵など ・三嶽修験信仰の史跡群（栗柄周辺）／俱利加羅不動明王・愛染窟（愛染明王の石仏）等 ・川内多々奴比神社（下板井）の秋の例祭。
	公共公益施設	・篠山市西紀支所、郵便局、農協、老人福祉センター、小学校、保育園など主な公共施設は、地区の南西地域に集積している。 ・篠山市立地域活性化センター「黒豆の館」 ・太古の生きもの展示室（黒豆の館）、太古の生きもの市民研究所（宮田）
地域づくり	主な組織と取り組み	・まちづくり協議会は、げんき・げんきハウスを拠点に活動している。 平成 19 年から地域の特産物である山の芋のつる燃やしをメインとした“とろろ街道炎のまつり”（11 月）を開催。 平成 23 年 3 月から高齢者等への外出支援事業（送迎）を実施。 地域の文化、史跡等のふるさとマップの作成。 3 世代交流を目的としたグランドゴルフ大会の実施。 地域内で発掘された太古の化石の勉強会、野菜講習、パソコン教室等各種講座の開催。 グランマにしき、老人会による小学校への支援。 各自治会単位での“いきいきサロン”の実施
	主な課題	・高齢者が安心して住めるまちづくり、交通手段の確保。 ・農業の後継者不足による農地の荒廃の問題解決。 ・地域拠点としての“げんき・げんきハウス”の利用拡大。
備 考		2011. 11. 30 作成

■高齢化等の状況



に し き き た						
地区カルテ（篠山市 西紀 西紀北小学校区）						
集落数	人口	世帯数	世帯人あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
4	846	323	2.62	12.8%	31.7%	H22.10.01
■概 況						
概況	位置・交通	・篠山市の最北東部、多紀連山の北に位置し、南は鼓峠を境に西紀地区に、北東は京都府（福知山市＜旧三和町＞、京丹波町＜旧瑞穂町＞）に接する。 ・地区の中央を県道篠山三和線が通り、三和町にて国道9号に接する。 ・篠山口駅から西紀支所を通り、草山温泉までのバスが1日数往復ある。				
	成り立ち	・川阪、本郷、遠方、桑原の四集落は荘園『草山荘』として中世からの歴史がある。 ・多紀郡の真北裏御岳山の北麓に属し、元は北ノ荘となり、その後草山の庄に、幕末に草山組となる。				
	産業・生活	・主として農業に依存しているが、経営規模は小さい。 ・冬季は酒造出稼ぎが多かったが、近年は少ない。 ・兼業化や減反などによって、産業構造の変化が起こっている。				
資 源 ・ 施設	自然・環境	・多紀連山から流れる水は冷たく清く、夏にはたくさんのホタルも飛び交うなど、豊かである。 ・シャクナゲ、桜、アジサイ、ツツジ、モミジなど四季折々の花が地区を彩る。				
	歴史・文化	・地域の氏神「春日神社」は、京都府天田郡の梅田春日神社より分霊を勧請したもの。秋の例祭には子どもたちによる「春日おどり」が奉納される（市・無形民俗文化財）。 ・木造阿弥陀如来坐像、木造観音菩薩立像（市指定有形文化財）				
	公共公益施設	・西紀北小学校、西紀きた幼稚園、草山診療所、草山里の家、本郷郵便局、地域コミュニティセンター、草山駐在所 ・JA 丹波ささやま草山 ・スポーツクラブ 21 西紀北クラブハウス ・遠方温泉の郷入口、温泉（観音湯、草山温泉大谷にしき荘） ・オータニにしきカントリークラブ ・VIP アルパイン・ローズ・ビレッジ（都市部からの来客あり。研修や合宿で利用）				
地域づくり	主な組織と取り組み	・草山郷づくり協議会（会長 松本三郎）：平成18年度「草山郷づくり協議会」を設立、県の県民交流広場事業の事業採択により、平成19年10月に拠点としての草山さとの家を建設。「つながり・にぎわい・うるおい」をテーマとして地域連携を進めている。 ＜主な活動＞ ・『つづみ峠を愛する会』鼓峠のゴミ拾いや草木の手入れ ・『楽市楽座実行委員会』住民、農業委員会、商工会、婦人会が農家や学校農園で収穫した農産物を「観音湯」駐車場で販売。 ・『蕎麦の会』川阪地区で活動。毎月の「蕎麦の会」には京阪神から20～30人が参加している。 ・北地区協議会（会長 向山憲雄）：四集落の自治会長、農会長の連絡調整会議、地区の財産管理、鳥獣対策をしている。地域敬老会等課題も多いが、郷づくり協議会と連携して活動している。				
	主な課題	・少子化に伴う小学校学童の減少（複式学級）の問題。 ・人口減の阻止、空家対策。 ・伝統文化の継承。 ・高齢化、鳥獣による農業人口の減少。 ・鳥獣対策（猪、鹿）				
備 考		2011.11.30 作成				

■高齢化等の状況

篠山市 西紀北小学校区

■年少人口比率(H22.10.01現在)

桑原
8.5%

遠方
9.7%

本郷
18.0%

川阪
1.9%

※年少人口比率：15 歳未満人口が全体に占める比率
※高齢人口比率：65 歳以上人口が全体に占める比率

■高齢人口比率(H22.10.01現在)

桑原
34.6%

遠方
31.8%

本郷
28.6%

川阪
42.3%

※年少人口比率：15 歳未満人口が全体に占める比率
※高齢人口比率：65 歳以上人口が全体に占める比率

凡例

年少人口比率	カラー	高齢人口比率
0～5%		40%以上
5～10%		35～40%
10～15%		30～35%
15～20%		25～30%
20～25%		20～25%
25～30%		15～20%
30%以上		0～15%

地区カルテ（篠山市 丹南 大山小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
14	1,562	547	2.86	10.1%	33.2%	H22.10.01

■概況

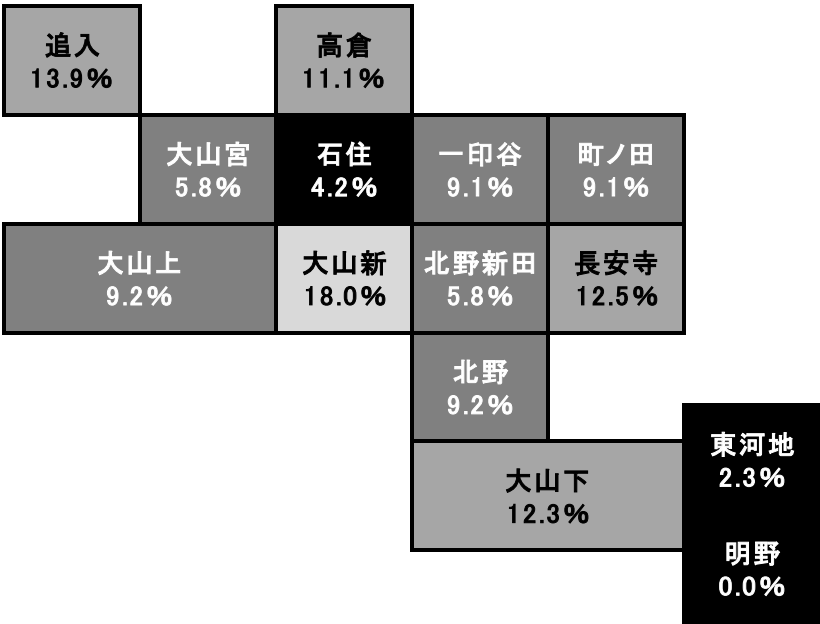
概況	位置・交通	- 篠山市の北西、兵庫丹波の中央に位置する。鐘ヶ坂峠を挟み、丹波市と隣接する。 - 地区を国道 176 号が縦断する。 - 篠山市中心部、JR、丹南篠山口 IC、丹波県民局がある丹波市柏原町までいずれも 10 分以内で移動でき、車による交通アクセスに恵まれた地域。公共交通は神姫グリーンバス、篠山市コミュニティバス。
	成り立ち	- 弥生の頃よりの遺跡が北野集落を中心に多数残されている（市指定文化財）。 - 地区としてのまとまりは東寺領の荘園時代にできる。「大山荘」は全国的に有名で教科書にも取り上げられる。その後総社「神田神社」を中心に大山村が発展した。
	産業・生活	- 農業（黒大豆、丹波栗、大山スイカ、天内いもなどの特産物）が中心であるが、林業は江戸（天保）の頃より熱心に取り組まれ、地区のアイデンティティになっている。 - 工業は自動車関連産業がある。 - 地区内には小規模な物販店舗が集落ごとに点在する。
資源・施設	自然・環境	- 金山、夏栗山、黒頭峰 - 大山宮の山野草、千年もみ（国天然記念物）等の巨木、アズマイチゲの群落（市天然記念物）等自然環境も豊かである。 - 川代溪谷において地元小学生が恐竜化石を発見した。
	歴史・文化	神田神社秋期例祭、子ども三番そう（追入）、池尻人形狂言（民俗文化財・町之田）、とふめし（食文化）：ごぼう、豆腐、鯖などを混ぜ込んだ郷土料理、西尾家住宅：篠山藩御用達を務めた旧家。江戸時代後期の俳人西尾武陵の生家（国登録有形文化財）、高蔵寺：県指定の有形文化財「釈迦八相涅槃図」
	公共公益施設	- 大山小学校、大山郵便局、大山幼稚園 - 川代体育館 - 大山荘の里市民農園、ねんりん館、大山ファミリーの郷 - 県立丹波並木道中央公園、川代公園
地域づくり	主な組織と取り組み	（財）大山振興会：地域山林経営、市民農園事業、ふれあい朝市、里山オーナー事業、朝市 - 大山郷づくり協議会：平成 23 年（2011）、少子高齢化のため、全員で地域を支えようと組織の再編を実施。同年、兵庫県「ふるさと自立計画推進モデル事業」に着手し、大山保育所として使われてきた木造平屋建ての建物をコミュニティ・スペースとして再生、「大山ファミリーの郷」をオープンさせた。 - コミュニティキッチン結良里：伝統食の製造・販売、コミュニティ喫茶の運営・高齢者サロンの実施
	主な課題	- 少子高齢化、人口減少への対策 - 高齢者福祉 - 少子化による教育環境の悪化（群れ機会の減）への対応 - 有形・無形文化財の継承 - 農林業を含む地域産業の活性化 - 地域への自信回復 - 他地域で就業している人のコミュニティ参画 - 定住希望者の受け入れ体制の確立 等
備考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況

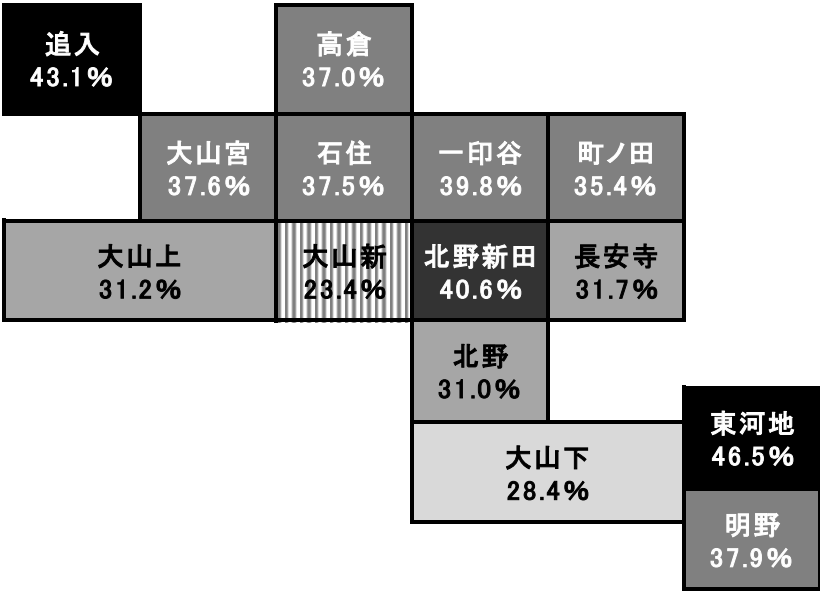
篠山市 大山小学校区



■年少人口比率(H22.10.01現在)



■高齢人口比率(H22.10.01現在)



凡例

年少人口比率	カラー	高齢人口比率
0～5%		40%以上
5～10%		35～40%
10～15%		30～35%
15～20%		25～30%
20～25%		20～25%
25～30%		15～20%
30%以上		0～15%

※年少人口比率：15 歳未満人口が全体に占める比率

※高齢人口比率：65 歳以上人口が全体に占める比率

地区カルテ（篠山市 丹南 味間小学校区）

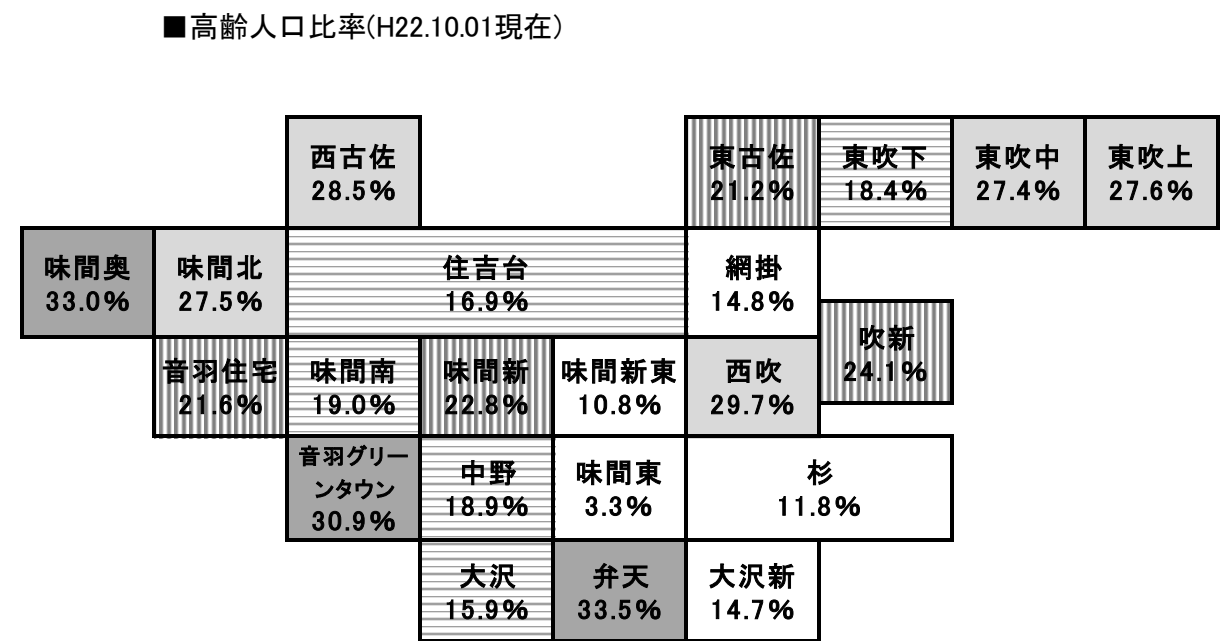
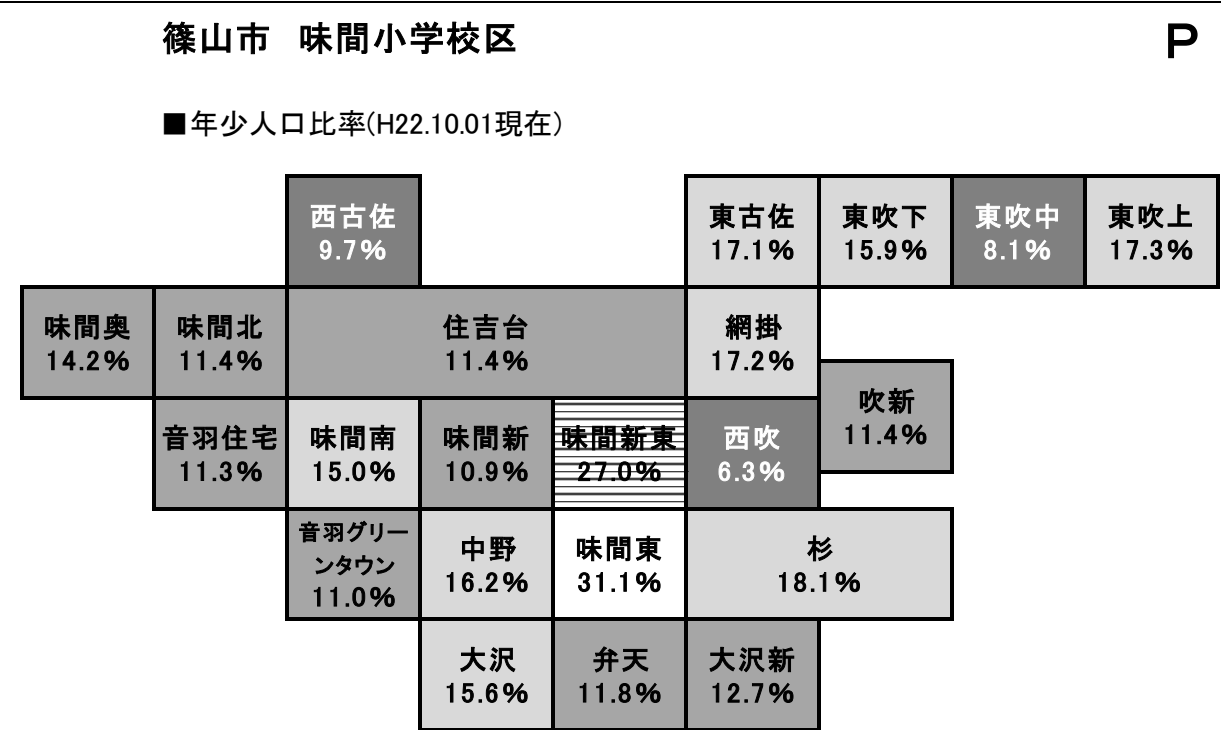
集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
27	8,995	3,443	2.61	13.3%	20.1%	H22.10.01

■概況

概況	位置・交通	・ 篠山市の中西部に位置し、東西 8.0km、南北 3.3km で面積は約 8.5k m²。 ・ 舞鶴若狭自動車道丹南篠山口 IC や JR 福知山線篠山口駅が位置し、篠山市内では最も開発が進んだエリア。都市部だけではなく市内からの流入人口も多い。
	成り立ち	・ 味間の地名のルーツを辿ると「広大な湿地や沼地が多く葦が生えていた」ことから、その葦の合間に見えるところ「葦間（あしま）」から名づけられたという説がある。 ・ 現在の味間小の前進は修徳尋常高等小学校であり、吹小と味間小の統合による。
	産業・生活	・ 県内一のお茶所が広がり丹波茶として生産している。毎年 6 月初旬には「茶まつり」が大規模に行われる。産業は農業、特に兼業農家が多い。しかし小学校区全体の 1/3 の人口を有する住吉台があり、神戸・大阪方面へ通勤する人も多い。 ・ 駅、インターチェンジ、ショッピングセンターが立地し、市の交通の玄関口となる。
資源・施設	自然・環境	・ 西古佐に位置する兵庫県立丹波並木道中央公園から恐竜化石（デイノニコスサウルス類）が発見された。現在追加調査中。 ・ 集落の多くの部分は開発された環境が広がる。特に味間地区に森林が多く残る。
	歴史・文化	・ 大国寺、大国寺の大日如来坐像/阿弥陀如来坐像/増長天立像/持国天立像（いずれも国指定重要文化財）/味間南宝篋印塔、文保寺楼門、雪見灯籠＜個人所有＞（いずれも市有形文化財）。味間で毎年 6 月に行われる「茶まつり」は大きなイベント。 ・ 伊能忠敬が味間地区を通して測量活動を行った。 ・ 味間北や西古佐等には、遺跡や古墳が残されている。県立公園内からは弥生時代以後の桂ヶ谷遺跡やズエガ谷遺跡等が発見された。
	公共公益施設	・ 味間保育園、味間幼稚園、味間認定子ども園、味間中学校、味間小学校（小中、いずれも市内で最も児童数の多い学校）などが味間新エリアに集中している。 ・ 四季の森生涯学習センター、丹南健康福祉センター、篠山市立中央図書館、四季の森運動公園グラウンドなど 生涯学習関連施設も多数立地。 ・ その他、個人医院も多数立地。
地域づくり	主な組織と取り組み	・ 味間地区におけるまちづくりについて、住民の意見・提言を聞くため平成 22 年に全世帯アンケートを実施。 ・ 元々は農村地域でありながら開発が進み、人口 3000 人を超える大規模住宅地（住吉台）もあり、多様性に富んだ地域。真の豊かさを実感できる地区をつくるため「みんなでつくろう夢・あじま」をスローガンとしている。 ・ 味間認定こども園を中心に約 1.5ha のエリアを関係集落の理解と支援を得ながら、親しまれる里山として、里山公園「音羽の森公園」の整備を行った。 ・ 農業振興としてポン菓子機を購入し、たんなん味覚まつりなどのイベントにおいて活用するとともに、地区自治会へも貸し出しを行っている。 ・ 味間小学校の前身である京都・修徳小学校を縁とした交流の実施。
	主な課題	・ 宅地開発が進み人口増加が見られる中、住民コミュニティが希薄化している。 ・ 世帯数約 3500、人口約 9000 人を有する市内最大規模のまちづくり協議会であり、広報の発行にしても相当な費用が必要。 ・ 自治会長会や既存団体において、まちづくり協議会の認知と位置づけのむずかしさ。
備考		・ その他概況、資源や施設の詳細については、味間地区まちづくり協議会 HP 参照。

2011. 11. 30 作成

■高齢化等の状況



年少人口比率	カラー	高齢人口比率
0～5%		40%以上
5～10%		35～40%
10～15%		30～35%
15～20%		25～30%
20～25%		20～25%
25～30%		15～20%
30%以上		0～15%

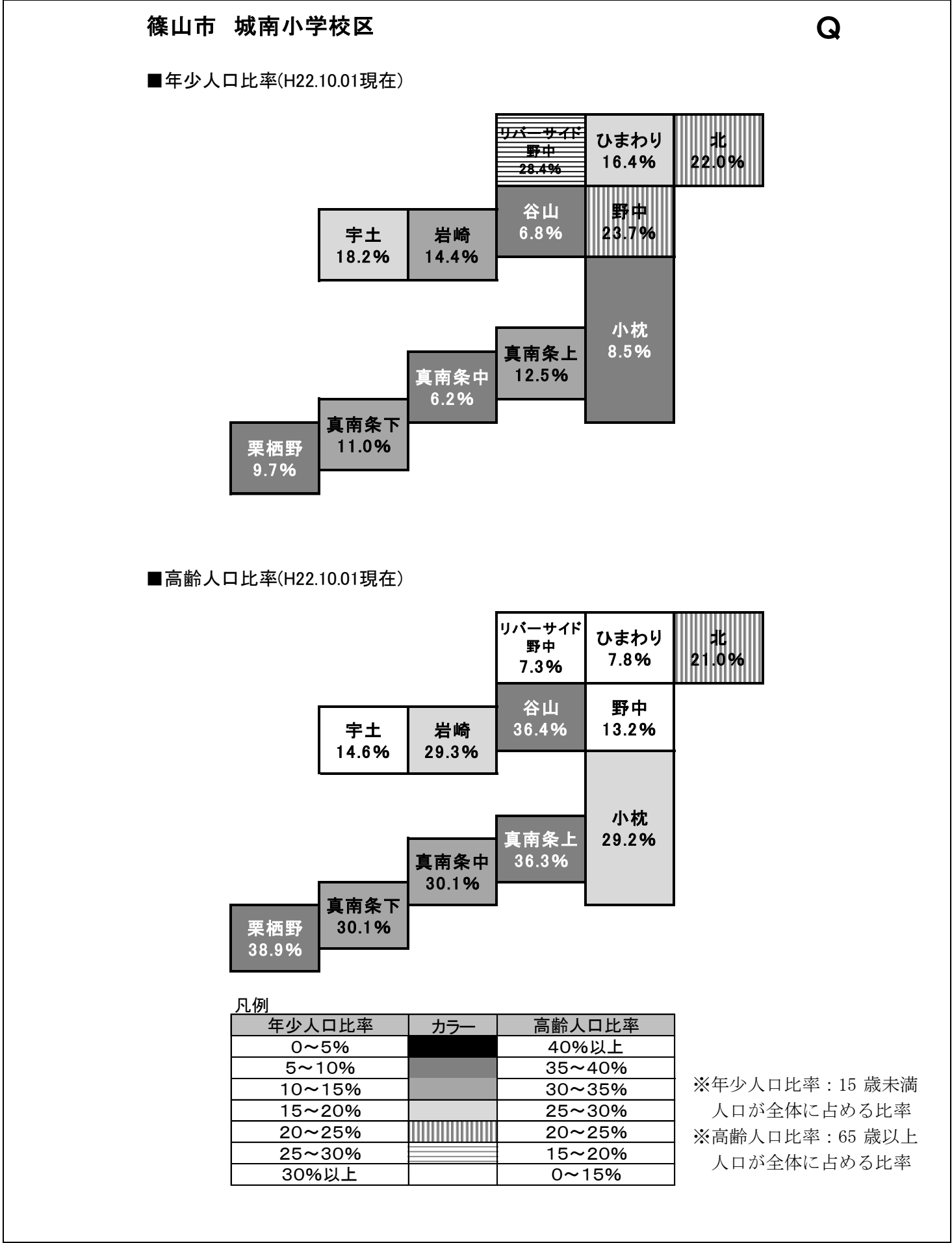
※年少人口比率：15 歳未満
人口が全体に占める比率
※高齢人口比率：65 歳以上
人口が全体に占める比率

地区カルテ（篠山市 丹南 城南小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
12	3,121	1,067	2.93	16.8%	21.2%	H22.10.01

■概 況		
概況	位置・交通	・篠山城跡の南、篠山市の中南部に位置し、地区の南部は三田市に隣接。最寄駅は JR 福知山線の篠山口駅、南矢代駅。JR 新大阪駅まで特急で1時間。最寄 IC は丹南篠山口 IC(中国自動車道の吹田 IC まで 45 分)。県道 306 号を西へ走るとは量販店、飲食店がある。 ・国道 372 号（デカンショ街道）が地区の中央を北東から南西へ横断している。
	成り立ち	・旧多紀郡城南村。平安期以降、東寺領大山荘をはじめとして多くの荘園がおかれた。戦国期には波多野氏が支配していたが、明智氏に滅ぼされた。豊臣氏蔵入地(直轄地)の後、八上藩領。慶長 14 年の八上藩の廃藩、篠山藩の立藩により篠山藩領へ。 ・明治 22 年の町村制により城南村。昭和の町村合併により丹南町となり、平成の合併を経て篠山市城南地区となる。
	産業・生活	・地区内 12 集落の就業者割合の単純平均は、第 1 次=18.6%、第 2 次=27.9%、第 3 次=53.4%、 ・作付面積割合は稲=81.1%、イモ類=0.6%、豆類=12.8%、野菜類=4.5%、その他=1%。 ・南の地域や宇土地区は田園地帯や古民家が多く、北の地域には新興住宅地が広がる。 ・子供の減少により、なくなりつつある神輿祭りがある。お地藏さんも風化している。
資源・施設	自然・環境	・田口池(真南条上、武庫川源流)。地区内を流れる田松川(運河)は隣接の味間地区の谷中分水界で、北へ流れた水は田松川⇒篠山川⇒加古川へ、南へは田松川⇒真南条川(田口池源流)と合流し武庫川へ流れる。 ・医王寺のラッパイチョウ（県指定天然記念物）は大変珍しいラッパの形の葉をもつ。 ・龍蔵寺のサルスベリの古木と樹林、諏訪神社(真南条下)のヒノキの大木。 ・カスミサンショウウオ（希少動物）、スジエビ、すけたろう菜（特産品化）、黒豆。
	歴史・文化	・義経伝説。三草山の合戦に向かうために義経軍は当地区内を二手に分かれて駆けたとされる。小枕春日神社、龍蔵寺、弘誓寺(ぐぜいじ、宇土観音)などゆかりの地が多い。 ・馬口池、馬場池、しんど池（井戸）などはゆかりの名称。 ・戦国武将、波多野秀治の腰元・侍女たちの悲話を今に留める女唄の碑、乙女塚。 ・地区内には古墳・遺跡が散在するが、特に東部の小枕、真南条上集落に多く見られる。
	公共公益施設	・篠山消防署(北集落)、各集落消防団、城南小学校、城南幼稚園、城南保育園(小枕集落)、篠山産業高校丹南校(栗栖野集落)、コミュニティセンター城南会館(小枕集落、城南小学校同敷地内)、篠山市コミュニティーバス、農業用水ため池(各集落)、公民館・集会所(各集落)、郵便局(小枕/真南条中集落)、城南駐在所(小枕)、真栗浄化センター
地域づくり	主な組織と取り組み	・地域づくりの主な組織は、城南地区まちづくり協議会、自治会長会、NPO ライフサポート(児童クラブ運営母体)。小学校児童数が増加している。 ・主要な取り組みは、子育て支援、お年寄りの居場所づくり、農業振興活動、ふるさと自立計画推進モデル事業の継続・発展、成徳とのまちむら交流(神戸市灘区「成徳ふれあいのまちづくり協議会」との地域間連携協定による)の一層の躍進。(HP・広報で配信) ・「まち協」で企画・立案。自治会長会、民生児童委員、防犯委員、学校関係、老人会・婦人会などの各種団体・サークル、地元住民などの理解、協力のもとに行なわれる。 ・すけたろう農園（集落農園）、岩崎マコモ会、みつばちグループ（民話語り部）、（農）真南条上営農組合
	主な課題	・新興住宅地住民と集落住民との交流、意識の違い。行政区分/校区区分の不一致。 ・「まち協」は継続性のある一元化した組織づくり（補助金が終わった後の継続方法）、地域づくり、地域の特性を地区内外へ向けて情報の発信（web、マスコミ活用）。
備 考		・城南地区まちづくり協議会が地域を引っ張っている。 2011.11.30 作成

■高齢化等の状況

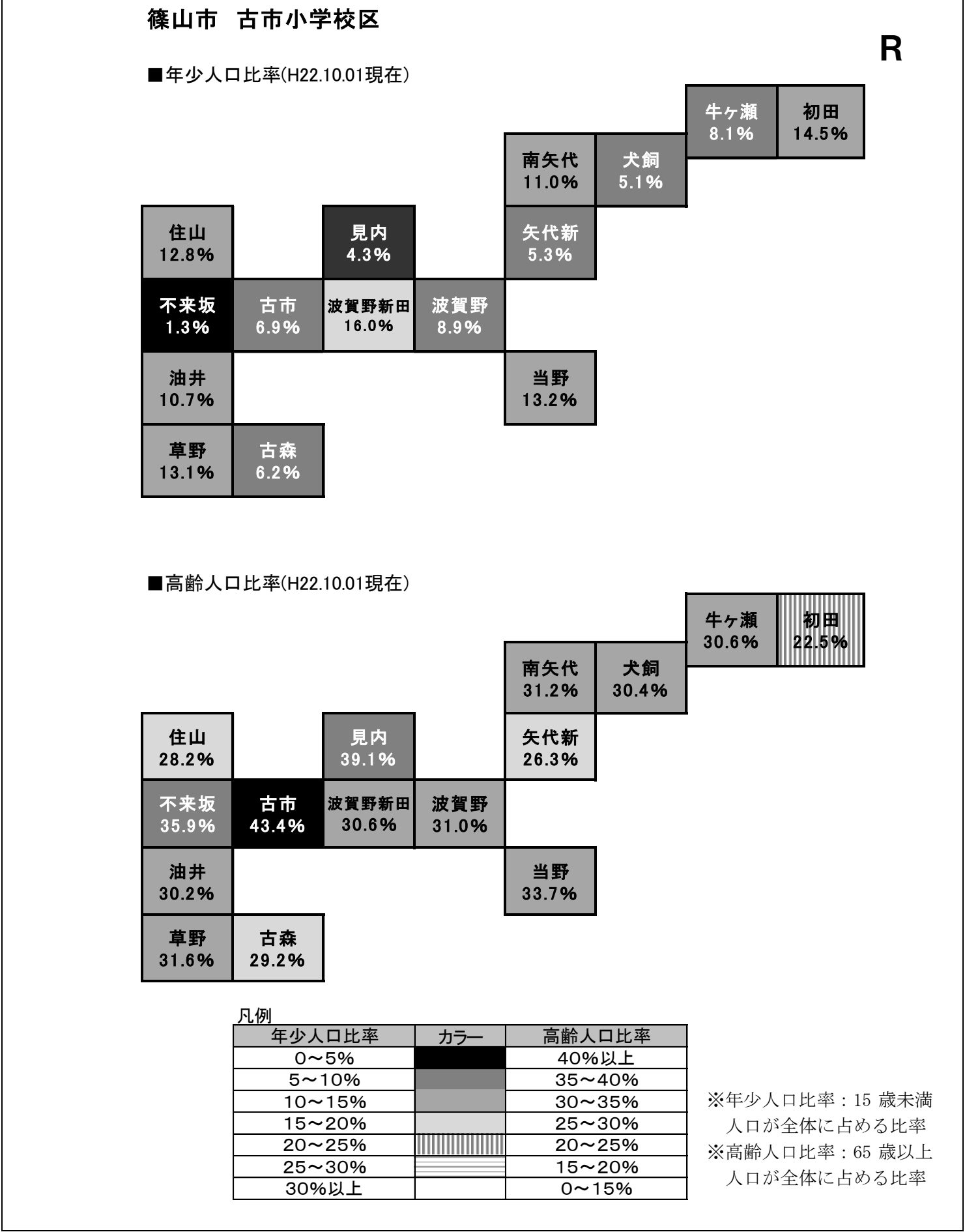


地区カルテ（篠山市 丹南 ふるいち 古市小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
15	2,383	817	2.92	10.2%	31.6%	H22.10.01

■概 況		
概況	位置・交通	・西側に白髪岳と松尾山を望み、古くから京都・但馬・播磨・有馬を結ぶ街道の要衝であった。今も国道176号・372号が通り、舞鶴若狭自動車道も通過している。 ・明治32年に阪鶴鉄道が開通し、やがて現在のJR福知山線となった。地区内に3つの駅を有し、複線電化に伴って大阪まで約50分という地域である。
	成り立ち	・多くの古墳遺跡が散在しており、4世紀ごろには集落が形成されていたと思われ、最近縄文時代の遺跡が発掘された。 ・5つの山城跡があり、戦国時代には軍事上の重要な地域でもあった。 ・古市小学校には、尋常科に加えて高等科が設置され、他村・他郡からも高等科への入学者が多く、南矢代分校や現篠山産業高校丹南校が設置されるなど、教育に熱心な地域であった。 ・古くは六斎市がたち、やがて宿場街を形成して、篠山の南の商業地域として発展していったが、大型店の出現により急速に商店街が衰退して行った。
	産業・生活	・稲作や葉たばこ等の農業とともに、林業の盛んな地域であった。 ・現在は兼業農家が中心で、黒大豆の栽培に精力的に取り組んでいるものの、高齢化が進み、里山の一部に荒廃が見られるようになった。 ・生活用品の買い物や福祉施設の利用、入院に伴う医療などは地区外の施設を利用している。
資源・施設	自然・環境	・白髪山、松尾山、もみじ、雲海 ・武庫川源流、田松運河の跡、蛭、桜堤
	歴史・文化	・松尾山高仙寺史跡や義経に関わる伝説、忠臣蔵との関わりをはじめ、数多くの歴史文化に触れることができる。これらは『見る識る見知るマップ』で紹介している。
	公共公益施設	・古市小学校、古市幼稚園、篠山産業高校丹南校、古市ふれあい館、玉津研修センター、古市郵便局、中兵庫信用金庫古市支店、古市地区コミュニティ消防センター、西井外科医院、JR古市駅、JR南矢代駅、JR草野駅
地域づくり	主な組織と取り組み	・古市地区まちづくり協議会：古市地区の一人ひとりが「この地に暮らしていて良かった」と思える郷土づくりをめざした活動。「マップ」づくり、文化活動発表会、毎月の広報紙の発行、史跡の啓発看板の設置のほか、住民活動の支援を実施している。 ・白髪岳／松尾山登山会：地域の実行委員会で企画実施され、紅葉と「ごぼう飯」が味わえ、多くの登山者が集う。 ・古市義士祭：不破数右衛門ゆかりの地として、地域の自治会や各種団体で実行委員会が組織され、昭和7年から「義士行列」などのイベントが行われる。 ・古市地藏盆：江戸時代から行われてきたが、近年は「宿場一夜夢街道」として、街角ギャラリーやライトアップも催され、多くの見物客が訪れる。
	主な課題	・少子高齢化が進み、農業の担い手不足、伝統行事の継承に支障が出始めている。 ・農地や里山の荒廃が進み、鳥獣被害が多発している。 ・南北に通る国道とJR沿いに集落があり、縦に長い地域のため、情報や交流が深まりにくいので、問題意識の共有化を進めていくことが大切である。 ・若者が定住できる地域にするための打開策を模索している。 ・公共交通路線はあるが、高齢者には利用しにくい現実があり、医療施設の利用や買物ツアー等の交通手段をどのように確保していくかが今後の課題である。
備 考		2011.11.30 作成

■高齢化等の状況



地区カルテ（篠山市 今田 今田小学校区）

集落数	人口	世帯数	世帯あたり人員	年少人口比率	高齢人口比率	備考
23	3,840	1,290	2.98	11.7%	26.5%	H22.10.01

■概況

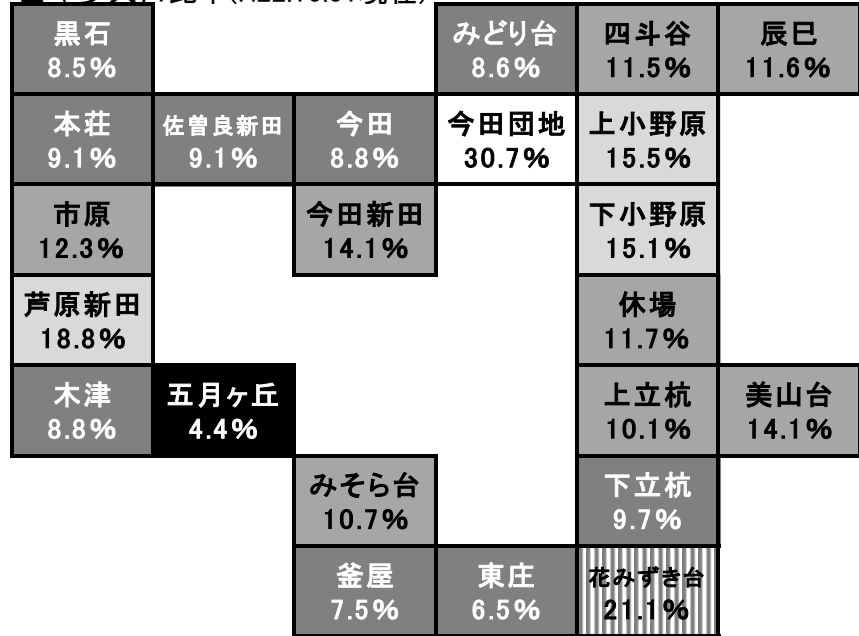
概況	位置・交通	- 兵庫県の中東部、篠山市の西南端に位置し、西は西脇市及び加東市、南は三田市に接する。四方を山に囲まれる。中央部には東西に国道 372 号が通過している。 - 地区内には鉄道や高速道路はない。神姫バスが相野駅から地区内間を運行している。
	成り立ち	- 今田は古くから住吉神社の社領であった。住吉神社は海で漁をする海人族の神であることから、瀬戸内の海人族が加古川、東条川をのぼりこの地に住みついたと言われる。 - 今田の地名は、第四代篠山藩主松平康信時代に今田組と呼ばれたのがはじまり。
	産業・生活	- 一昔前までは農林業を中心とした生活で、冬は炭焼きなどを中心に生活していた。現在農業の後継者は殆どがサラリーマンとして生計を立てている。 - みどり台、今田団地、美山台、花みずき台等新興住宅街、団地等では他地域に比べ年少人口が多く、高齢化率が低い。 - 立杭地区を中心に、平安時代末期から伝統産業丹波立杭焼があり、日本六古窯の一つに数えられ、約 60 戸の窯元が日常の陶器から美術品まで製造している。 - 公共バスの便数の激減、日常品の買い物は地元個人商店がなくなったことにより、近隣への買い物、病院通いの交通手段に苦労している。
資源・施設	自然・環境	- 加古川の源流である西には黒石川と東には四斗谷川が流れ、四囲には他市町との境界となる標高 300m～700m の山岳が連なる。町の中央部に位置する和田寺山を中心にした 300m～600m の山岳には、スギやヒノキの植え込みが少なく広葉樹が多いため、春の新緑、秋の紅葉の紅葉が美しい。 - ブナ科の常緑高木であるウバメガシが本来海岸部の岸状地に分布するものであるが、海岸からかなり離れた西光寺山に群生し、ウバメガシ林を形成している。
	歴史・文化	- 丹波立杭焼窯(作窯技法) (国無形文化財)、古丹波壺(2 種)/和田寺文書 (県有形文化財)、丹波焼古窯跡 (県記念物)、上立杭の大アベマキ (県天然記念物)、和田寺のシイ/西方寺のサザンカ (市天然記念物) - 小野庄住吉神社の神踊「蛙おどり」/木津住吉神社の田楽 (県無形民俗文化財) など。 - 本荘住吉神社の「大般若経」200 巻。 - 只超峠、オロ峠、不来坂峠などに義経伝説が残っている。 - 今田町文化協会は、今田町民の文化活動の一層の発展をめざす主旨のもと、昭和 61 年に設立され、現在も活動が続いている。
	公共公益施設	今田小学校、今田中学校、今田郵便局、今田まちづくりセンター、市立こんだ診療所、兵庫県立陶芸美術館、丹波立杭焼陶の郷公園、こんだ薬師温泉
地域づくり	主な組織と取り組み	- 自治会町会 (代表 丹上孝行) : 行政自治から各集落の自治全般にわたって活動。 - まちづくり協議会 (代表 藤本忠男) : 各集落自治の枠を超え、今田町全体の問題解決に努力。主な活動に 8 月サマーフェスティバル、10 月敬老会など。 - 今田文化協会 (代表 吉村隆志) : 地域文化の推進、秋の文化祭開催。 - 丹波篠山楽空間 (代表 上羽裕樹) : よさこいソーラン。青少年育成にも貢献。 - その他スポーツクラブ 21、体育振興会、少年野球クラブ、ぬくもりの郷振興協議会等
	主な課題	- 若年層の減少と農業の担い手不足の進行解決。 - サラリーマン多による昼間人口の減少、都市化に伴う人間関係の希薄化。 - 薪炭利用がなくなり、山林が放棄され豊かな自然に限界がきている。 - 公共交通対策、交通弱者の援助策検討。
備 考		2011. 11. 30 作成

■高齢化等の状況

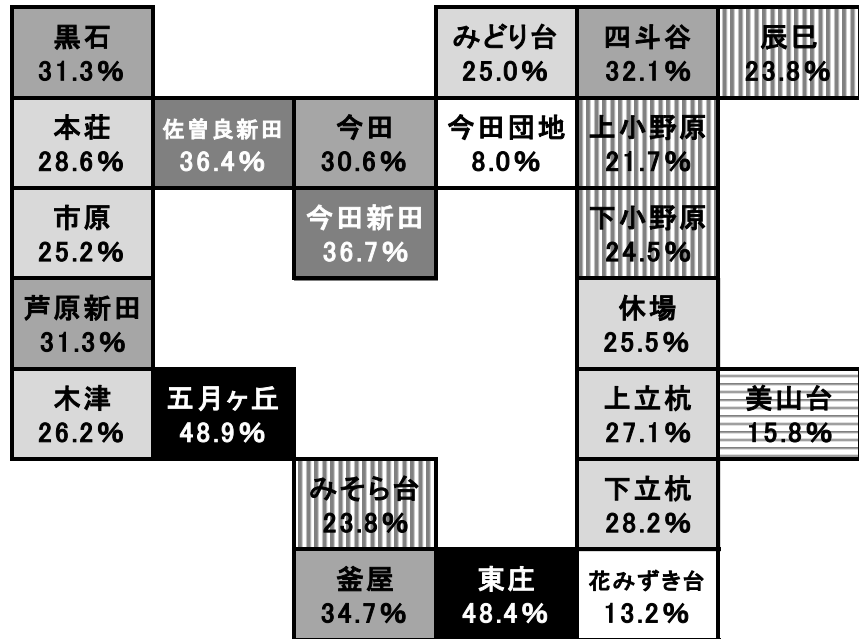
篠山市 今田小学校区

S

■年少人口比率(H22.10.01現在)



■高齡人口比率(H22.10.01現在)



凡例

年少人口比率	カラー	高齢人口比率
0～5%		40%以上
5～10%		35～40%
10～15%		30～35%
15～20%		25～30%
20～25%		20～25%
25～30%		15～20%
30%以上		0～15%

※年少人口比率：15 歳未満
人口が全体に占める比率

※高齢人口比率：65 歳以上
人口が全体に占める比率